

貸金業利用者に関する調査・研究

<調査結果報告書>

2024年3月15日

株式会社MSS



	P-
◆ I. 調査概要	2
◆ II. 調査結果のまとめ	7
◆ III. 多重債務者のまとめ	18
◆ IV. 無登録業者(ヤミ金)の利用状況	23
◆ V. 事業者における借入状況のまとめ	27
◆ VI. キャッシュレス決済のための貸金利用状況まとめ	31
◆ VII. 貸付自粛制度の認知・利用状況のまとめ	34
◆ VIII. ギャンブル等を目的とした借入経験者のまとめ	38

I .調査概要

1. 調査設計
2. 本調査有効回収数
3. 対象者グループの定義補足
4. ウェイトバックについて

調査手法	インターネット調査
抽出母集団	GMOリサーチ(株式会社MSS提携) ネットモニター
調査地域	全国
調査対象	・18～70代の男女 ・本人または家族が以下の職業に従事している場合は対象外 出版・印刷関連、マスコミ関連(新聞・放送業等)、広告・市場調査、金融・保険・証券
調査期間	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査 2024年1月9日(火)～1月19日(金) ※数回の追加配信を実施 <input type="checkbox"/> 本調査 2024年1月23日(火)～2月15日(木)
調査設計	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査: 回収目標サンプル数 最大60,000サンプル <グループ1> 性別/年代/エリアで母集団準拠を行った50,000サンプル程度 ※母集団準拠については、令和2年度の国勢調査結果を母集団として使用 <グループ2> 「農林漁業」「専門職」「個人事業主」従事者、「会社員」「派遣・契約社員」 約10,000サンプル程度 <input type="checkbox"/> 本調査: 回収目標サンプル数:5,000サンプル程度 <グループA> 3年以内借入経験者 2,800サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,200サンプル <グループC> 事業者(「農林漁業」、「個人事業主」、「経営者・役員」) 300サンプル(※ 上記A、Bに含まれる)
有効回収 サンプル数	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査 <グループ1> 性別/年代/エリアで母集団準拠を行った、49,569サンプル <グループ2> 「農林漁業」、「専門職」、「個人事業主」、「会社員」、「派遣・契約社員」、「経営者・役員」、「公務員」、その他 計10,000サンプル <input type="checkbox"/> 本調査 <グループA> 3年以内借入経験者 2,933サンプル うち<グループ2>由来 133サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,436サンプル うち<グループ2>由来 236サンプル <グループC> 事業者 852サンプル(「農林漁業」40サンプル、「個人事業主」648サンプル、「経営者・役員」164サンプル) ※ 上記A、Bに含まれる

2. 本調査有効回収数

- 本報告書では、基本的に下表の「人口構成比準拠スクリーニング」※1ベースに分析を行っている。
 - ただし、職業別に分析を行う際にのみ、「人口構成比準拠スクリーニング」に「追加有職者サンプル」※2を加えたサンプルをベースとしている。
- ※1「人口構成比準拠スクリーニング」とは、市場の構成を反映させるため、スクリーニング時に性別／年代／エリア(地域)別に市場人口構成比に準じた割付を行い回収したサンプルです。
- ※2「追加有職者サンプル」とは、職業別分析の際に安定したサンプル数を確保するため、人口構成比準拠スクリーニングとは別枠でスクリーニングを行い獲得したサンプルです。

	人口構成比準拠スクリーニング					補填サンプル	
	小計	3年以内 借入経験者	3年以内借入経験者以外	うち、3年以前 借入経験あり	うち、 借入経験なし	補填サンプル 追加全体	うち、3年以内 借入経験あり
全体	5,000	2800	2200	266	1934	5,369	2,933
会社員	2,542	1657	885	88	797	2,794	1,757
経営者・役員	151	69	82	20	62	164	75
個人事業主	603	276	327	94	233	648	280
公務員(教員含む)	116	67	49	3	46	128	71
専門職(個人事業主は除く)	85	44	41	1	40	99	48
農林漁業	32	16	16	1	15	40	24
派遣・契約社員	317	214	103	12	91	342	221
パート・アルバイト・フリーター	377	201	176	13	163	377	201
専業主婦/主夫	255	69	186	6	180	255	69
無職	426	128	298	25	273	426	128
学生	69	42	27	1	26	69	42
その他	27	17	10	2	8	27	17

・『3年以内借入経験者』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「商工ローンからの借入れ(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験がある方

・『3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「商工ローンからの借入れ(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在そのいずれかの借入残高が残っている方

・『3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「商工ローンからの借入れ(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在「消費者金融からの借入れ」の借入残高が残っている方

・『借入経験なし』

過去、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「商工ローンからの借入れ(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれについても利用経験がない方

- スクリーニング調査結果より、「3年以内借入経験者」が全体に占める割合は5.19%。この値が全体に占める「3年以内借入経験者」の比率と推計される。(表1)
- 今回の本調査の回収結果は、前者が2,800、後者が2,200サンプルの回収となり、「3年以内借入経験者」が本調査回収サンプル総数の半数程度を占め、実際の構成よりも大きな比率を占めている。
- よって、セーフティネットの認知など、「3年以内借入経験者」と「3年以内借入経験者以外」を足した数値をみる際には、3年以内借入経験者の比率を市場構成比にあわせるための補正処理(ウェイトバック)を行っている。(表2)

※本報告書においては、ウェイトバックを行った数値を記載している箇所には「ウェイトバックあり」と注記を付している。

【表1】
スクリーニング／本調査回収結果における、「3年以内借入経験者」の割合

スクリーニング調査回収結果(人口構成比準拠スクリーニングのみ)

	全体	3年以内借入 経験者	3年以内借入 経験者以外
サンプル数	49,569	2,573	46,996
構成比	100	5.19	94.81

本調査回収結果(人口構成比準拠スクリーニングのみ)

	全体	3年以内借入 経験者	3年以内借入 経験者以外
サンプル数	5,000	2,800	2,200
構成比	100	56.0	44.0

【表2】
ウェイトバック値の算出方法

	①	②	③	ウェイトバック値
	回収サンプル数	スクリーニング回収 結果より母集団 準拠した際の比率	回収サンプル数を スクリーニング回収 結果比率にあわせる (①全体×②)	(③÷①)
全体	5,000	1	5,000	-
3年以内借入経験者	2,800	0.0519	259.5	0.0927
借入経験なし	2,200	0.9481	4740.5	2.1548

Ⅱ. 調査結果のまとめ

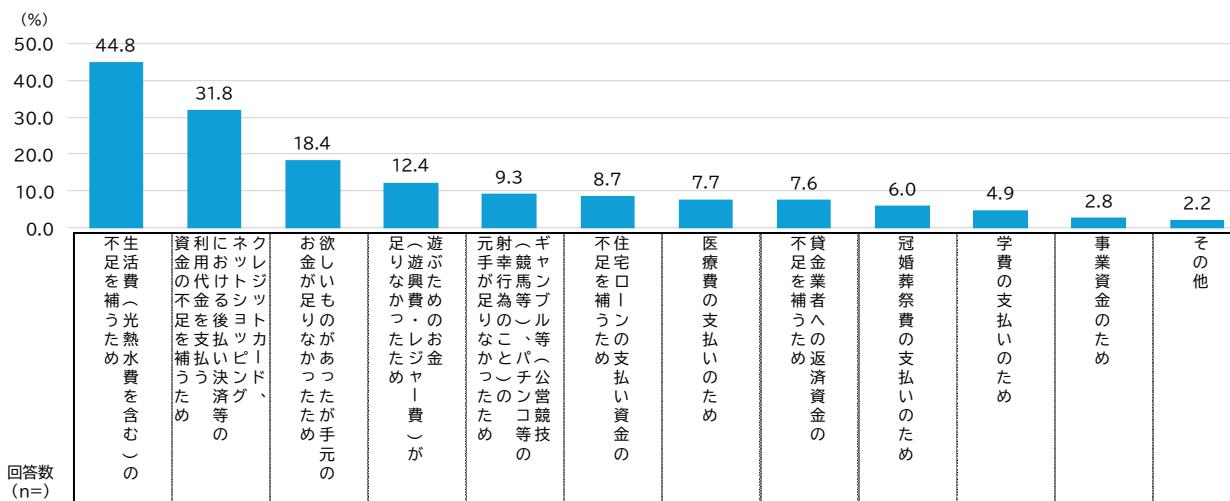
- 3年以内借入経験者の実態
- 借入残高が年収の1/3を超える者について
- セーフティーネット制度について
- 家計や借入れの悩みについて

ベース：3年以内借入経験者

クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者

- 3年以内借入経験者のうち、クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者の利用目的の上位は、「生活費の不足を補うため」が44.8%、「クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため」が31.8%、「欲しいものがあつたが手元のお金が足りなかったため」が18.4%となっている。
- 「生活費の不足を補うため」は、年収が低くなるほど回答割合が高くなる傾向が見られる。職業別では、「派遣・契約社員」、「パート・アルバイト・フリーター」、「無職」における回答割合が高い。

Q1.【クレジットカード会社のキャッシング・カードローン】あなたが最近3年以内に借入れ・資金調達等を行った以下のサービスについて、それぞれの契約目的として、当てはまるものを全てお答えください。(それぞれいくつでも)



利用者全体		2299	44.8	31.8	18.4	12.4	9.3	8.7	7.7	7.6	6.0	4.9	2.8	2.2
年収別	0円	63	52.4	30.2	19.0	9.5	7.9	6.3	0.0	4.8	1.6	4.8	0.0	0.0
	1~300万円以下	807	50.2	33.7	16.0	9.0	6.8	6.4	7.1	6.8	5.1	3.0	3.7	2.0
	301~500万円以下	729	44.3	30.2	19.3	11.0	9.1	6.7	8.2	6.7	5.2	4.5	2.2	1.8
	501~1000万円以下	564	40.2	32.1	19.5	17.0	12.6	12.9	8.5	9.0	7.8	8.5	2.0	2.1
	1001万円以上	136	30.9	29.4	22.8	21.3	11.8	15.4	9.6	11.8	10.3	3.7	5.9	7.4
職業別※	会社員	1459	42.6	32.6	17.6	13.6	10.2	10.5	8.2	8.4	6.9	5.8	1.3	1.7
	経営者・役員	66	24.2	30.3	31.8	19.7	13.6	16.7	12.1	15.2	6.1	4.5	12.1	6.1
	個人事業主(自営業、SOHO含む)	214	47.7	25.7	15.0	7.0	4.7	6.1	3.7	3.7	4.7	3.7	16.4	2.8
	公務員(教職員含む)	58	32.8	25.9	8.6	6.9	8.6	17.2	8.6	17.2	12.1	6.9	0.0	3.4
	専門職(個人事業主は除く)	44	40.9	40.9	15.9	9.1	6.8	2.3	18.2	4.5	4.5	4.5	4.5	9.1
	農林漁業	13	61.5	61.5	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0
	派遣・契約社員	171	60.2	26.3	21.1	10.5	9.9	2.9	7.6	4.1	4.7	1.8	1.2	2.9
	パート・アルバイト・フリーター	156	59.6	32.1	21.2	10.3	5.8	3.2	6.4	6.4	7.1	2.6	0.0	1.3
	専業主婦/主夫	60	50.0	33.3	20.0	8.3	0.0	1.7	8.3	5.0	1.7	5.0	0.0	1.7
	無職	116	56.0	26.7	19.0	9.5	12.9	1.7	3.4	4.3	0.0	0.0	0.9	5.2
	学生	34	11.8	41.2	20.6	14.7	2.9	20.6	5.9	5.9	5.9	14.7	0.0	2.9
	その他	13	7.7	53.8	23.1	7.7	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7

<全体との差>
■ +10pt以上高い
■ +5pt以上高い
■ -10pt以上低い
■ -5pt以上低い
■ サンプル30未満

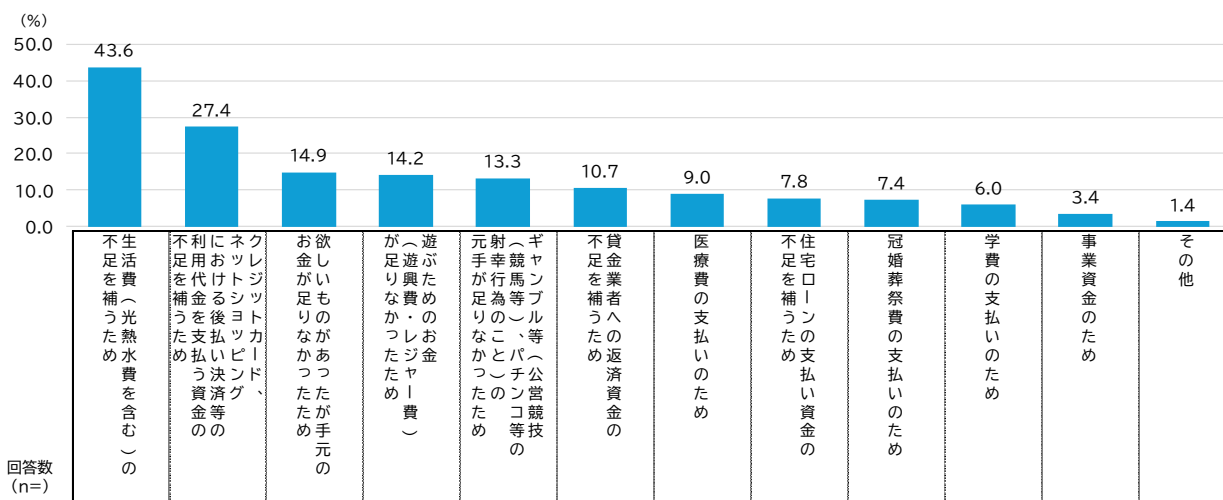
※補填サンプルを含む。

消費者金融利用者

ベース：3年以内借入経験者

- 3年以内借入経験者のうち、消費者金融利用者の利用目的の上位は、「生活費の不足を補うため」が43.6%、「クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため」が27.4%、「欲しいものがあつたが手元のお金が足りなかったため」が14.9%となっている。
- 職業別では「個人事業主」、「派遣・契約社員」、「パート・アルバイト・フリーター」で、「生活費の不足を補うため」の回答割合が多くなっている。

Q1.【消費者金融】あなたが最近3年以内に借入れ・資金調達を行った以下のサービスについて、それぞれの契約目的として、当てはまるものを全てお答えください。(それぞれいくつでも)



利用者全体		1192	43.6	27.4	14.9	14.2	13.3	10.7	9.0	7.8	7.4	6.0	3.4	1.4
年取別	0円	27	44.4	18.5	3.7	3.7	7.4	0.0	0.0	14.8	0.0	14.8	3.7	3.7
	1~300万円以下	420	51.7	27.1	13.3	8.8	8.3	9.0	7.4	5.5	6.4	5.0	4.3	1.0
	301~500万円以下	382	42.9	27.0	12.0	16.8	14.4	11.3	7.6	5.8	8.9	3.7	1.3	1.6
	501~1000万円以下	300	37.3	25.7	20.3	17.7	18.3	11.0	12.0	10.7	6.3	9.0	4.0	2.0
	1001万円以上	63	23.8	44.4	22.2	22.2	17.5	22.2	17.5	19.0	12.7	9.5	7.9	0.0
職業別※	会社員	846	41.0	28.7	14.7	15.1	13.8	10.2	9.9	8.4	8.9	6.5	1.9	1.5
	経営者・役員	30	26.7	36.7	36.7	33.3	16.7	30.0	26.7	20.0	20.0	3.3	20.0	0.0
	個人事業主(自営業、SOHO含む)	84	54.8	14.3	13.1	2.4	6.0	13.1	7.1	3.6	1.2	1.2	15.5	0.0
	公務員(教職員含む)	36	33.3	25.0	13.9	11.1	19.4	19.4	13.9	16.7	13.9	8.3	2.8	0.0
	専門職(個人事業主は除く)	13	15.4	30.8	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7
	農林漁業	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	派遣・契約社員	90	63.3	22.2	17.8	10.0	13.3	6.7	4.4	2.2	1.1	1.1	2.2	1.1
	パート・アルバイト・フリーター	84	56.0	23.8	13.1	14.3	11.9	7.1	4.8	4.8	3.6	4.8	0.0	1.2
	専業主婦/主夫	16	43.8	37.5	25.0	31.3	6.3	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	無職	22	63.6	13.6	4.5	0.0	9.1	9.1	0.0	4.5	9.1	4.5	9.1	4.5
	学生	23	13.0	43.5	21.7	4.3	4.3	8.7	4.3	21.7	8.7	17.4	0.0	0.0
	その他	4	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<全体との差>
■ +10pt以上高い
■ +5pt以上高い
■ -10pt以上低い
■ -5pt以上低い
■ サンプル30未満

※補填サンプルを含む。

年収別/職業別

ベース：3年以内借入経験者

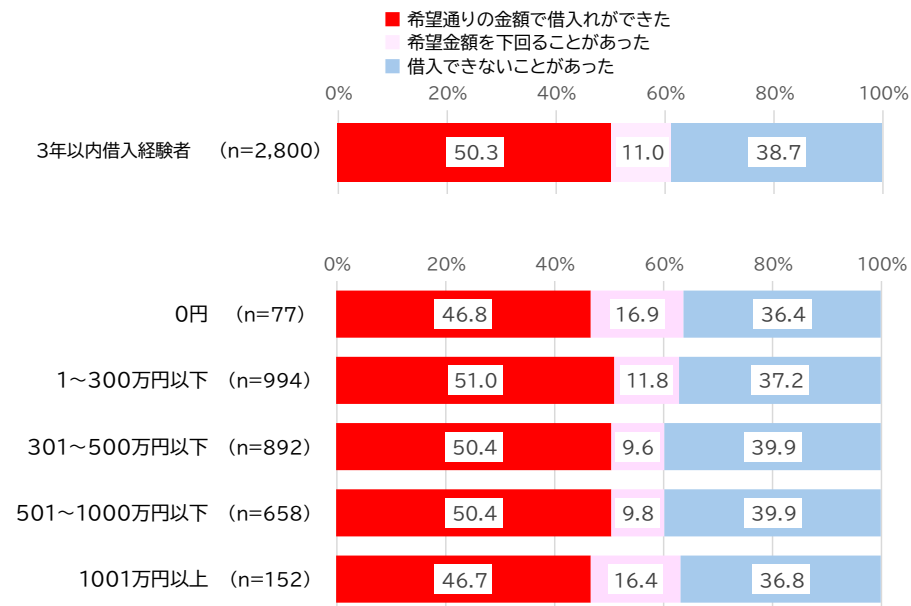
- 3年以内借入経験者全体のうち、「借入れができなかったことがあった」人が38.7%、借入れができなかったことはないが「希望通りの金額で借入れができないことがあった」人が11.0%、「全て希望通りの金額で借入れができた」人は50.3%となっている。
- 職業別では、「学生」、「会社員」において、「希望金額を下回ることがあった」、「借入れできなかったことがあった」等、希望通りの借入れとはならなかった人の回答割合が高くなっている。

Q9.あなたが、最近3年以内に以下1~4の貸金業者で借入れの申込みをしたが、借入れができなかったものがありますか。(いくつでも)
 Q10.あなたが、最近3年以内に以下の貸金業者から借入れた際、常に希望通りの金額を借入れることができましたか。(それぞれひとつずつ)

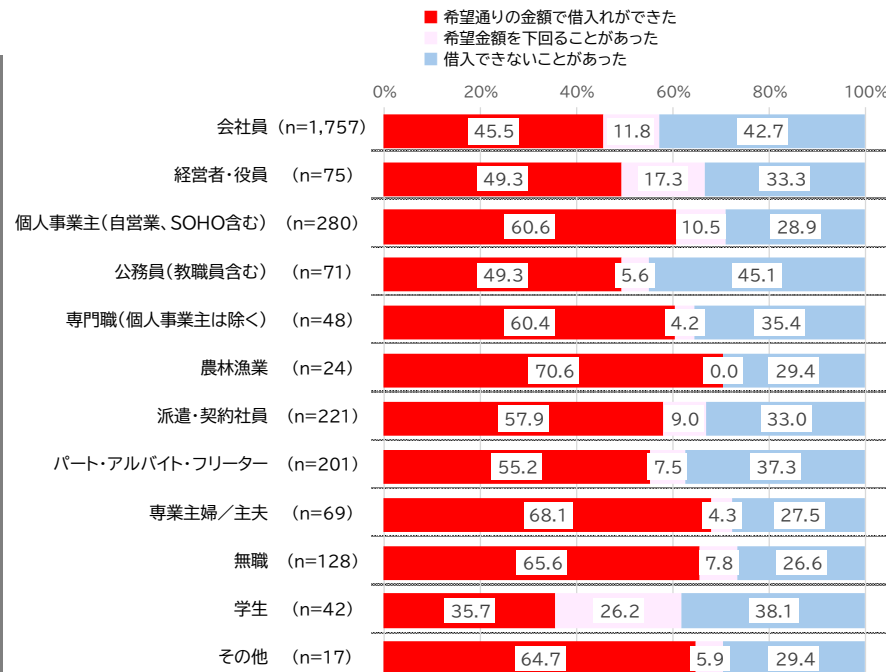
直近3年以内において希望通りの借入れができたかどうか
 (ベース:3年以内借入経験者)

※補填サンプルを含む。

年収別



職業別



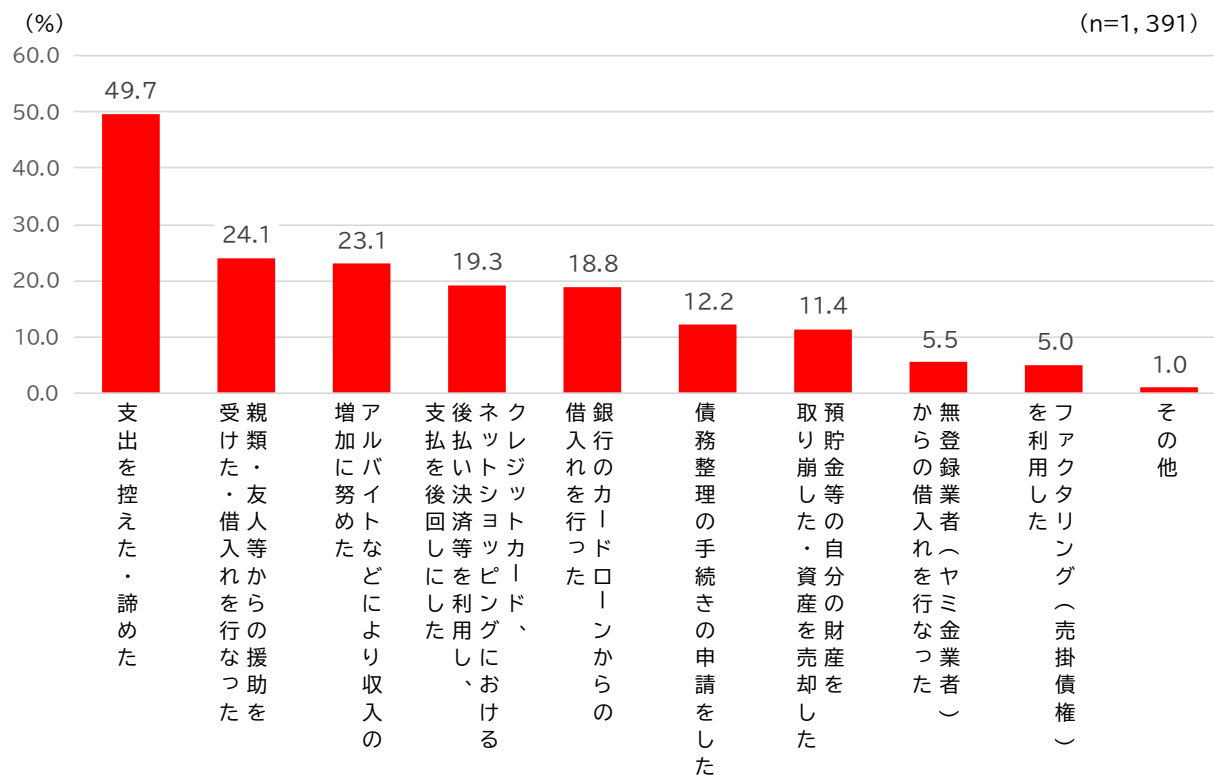
希望通りの借入れができなかったときの対応

ベース：3年以内借入経験者

- 希望通りの借入れができなかったときの主な対応の上位3項目は、「支出を控えた・諦めた」が49.7%、「親類・友人等からの援助を受けた・借入れを行なった」が24.1%、「アルバイトなどにより収入の増加に努めた」が23.1%、となっている。

Q11.最近3年以内に申込みをしたが希望通りの金額で借入れができなかった際、あなたはどのようにされましたか。当てはまるものを全てお選びください。(いくつでも)

最近3年以内の借入不可・希望金額借入不可時の対応
(ベース：3年以内の借入経験者で希望通りの借入れができなかった人)



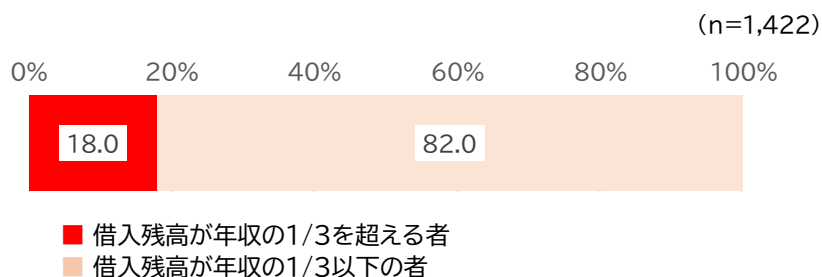
現在の借入残高

ベース：3年以内借入経験者・残高有

- 3年以内借入経験者かつ現在借入残高がある者で、借入残高が年収の1/3を超える者の割合は18.0%となっている。
- 年収別で見ると、年収が低いほど借入残高が年収の1/3を超える者の割合が高い傾向が見られる。
- 職業別に見ると、「個人事業主」、「学生」、「パート・アルバイト・フリーター」、「契約社員・派遣社員」で割合が高くなっている。(回答者30人以上)
- また、消費者金融に借入残高がある者に絞ると、借入残高が年収の1/3を超える者の割合は18.3%となっている。

Q4.あなたがご利用の以下の借入れ・資金調達等のサービスについて、現在の借入残高(利用残高)をそれぞれお答えください。
 Q17.あなたご自身の昨年1年間の年収(税引き前)について、お答えください。

借入残高が年収の1/3を超える者の割合
 (ベース:3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)

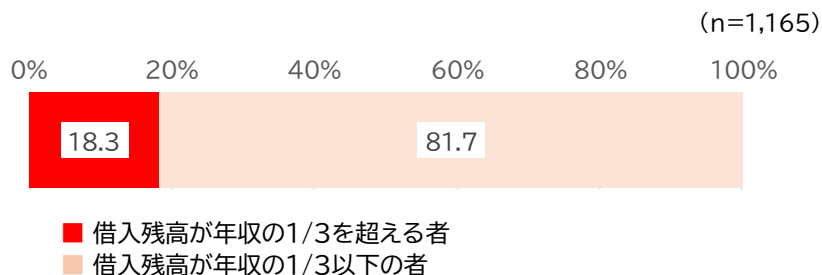


借入残高が年収の1/3を超える者の割合 年収・職業別
 (ベース:3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)

※補填サンプルを含む。

		回答者 (n=)	借入残高が年収の1/3 を超える者(%)
年収別	全体	1,422	18.0
	0円	77	100.0
	1~300万円以下	492	36.6
	301~500万円以下	431	9.7
	501~1000万円以下	342	8.5
	1001万円以上	80	6.3
職業別	会社員	953	15.2
	経営者・役員	42	19.0
	個人事業主(自営業、SOHO含む)	140	31.4
	公務員(教職員含む)	43	11.6
	専門職(個人事業主は除く)	15	6.7
	農林漁業	12	33.3
	派遣・契約社員	97	21.6
	パート・アルバイト・フリーター	92	25.0
	専業主婦/主夫	19	5.3
	無職	42	16.7
	学生	34	26.5
その他	6	0.0	

借入残高が年収の1/3を超える者の割合
 (ベース:3年以内借入経験者かつ現在消費者金融に借入残高あり)



属性の特徴

ベース：3年以内借入経験者・残高有

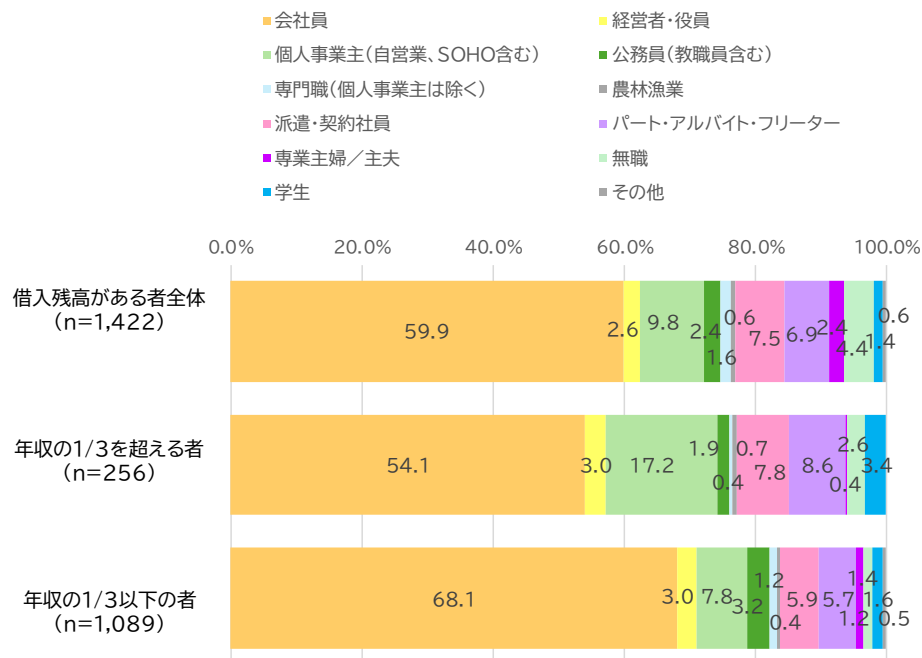
- 借入残高が年収の1/3を超える者(3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり)の職業は全体に比べ「個人事業主」の割合が高い。
- 借入残高が年収の1/3を超える者(3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり)の消費者金融借入目的は、「生活費不足の補填」の割合が、最も高くなっている。

Q4. あなたがご利用の以下の借入れ・資金調達等のサービスについて、現在の借入残高(利用残高)をそれぞれお答えください。

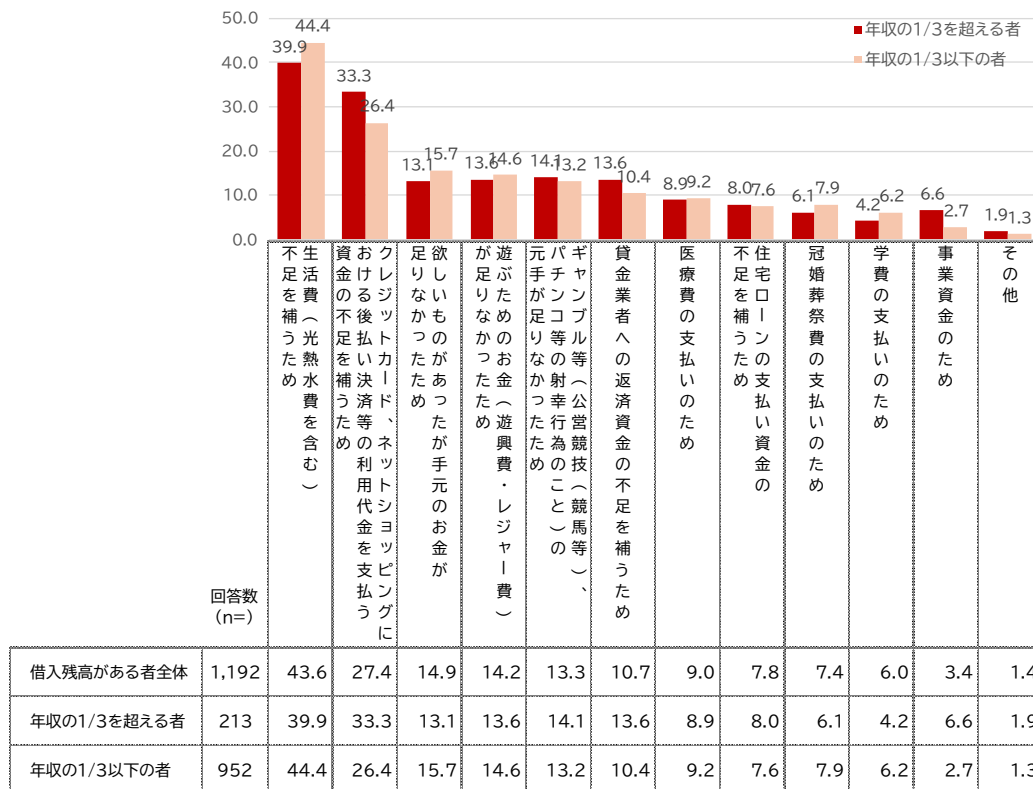
Q17. あなたご自身の昨年1年間の年収(税引き前)について、お答えください。

Q1. 【消費者金融】あなたが最近3年以内に借入れ・資金調達等を行った以下のサービスについて、それぞれの契約目的として、当てはまるものを全てお答えください。(それぞれいくつでも)

借入残高が年収の1/3を超える者の職業
(ベース:3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)



借入残高が年収の1/3を超える者の消費者金融借入目的
(ベース:消費者金融から3年以内借入れありかつ現在借入残高あり)



相談窓口の認知率

ベース：全員

- 3年以内借入経験者におけるセーフティネットの認知は、「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が60.9%で最も高く、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が59.7%の僅差で続く。
- なお、「財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口」に対する、全体の認知率は19.1%である。
- 借入残高が年収の1/3を超える者の認知も「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が60.9%で最も高く、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が上位2位。詳細認知は、「財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口」のが27.0%で最も高い。

Q12. 多重債務者など、金銭面で生活が苦しい状況に陥っている方を救済することを目的とした制度として、セーフティネット制度があります。以下の機関や相談窓口が、セーフティネットとして、多重債務に関する相談や、生活に困った人に対する貸付け等を行っていることをご存知ですか。それぞれについて、お答えください。(それぞれひとつずつ)

※全体のみウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

セーフティネット 認知/詳細認知状況

	回答数 (n=)	財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口		法テラス、国民生活センターの相談窓口		弁護士会、司法書士会の相談窓口		生活協同組合や労働金庫・信用組合で行っている貸付制度		各都道府県の社会福祉協議会が行なう生活福祉資金貸付制度		日本貸金業協会・全国銀行協会による貸付自粛制度		
		認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	
全体	5,000	19.1	2.9	38.0	5.8	38.5	5.6	20.0	3.0	17.3	3.3	12.7	2.3	
3年以内借入経験者	2,800	46.5	18.1	60.9	20.1	59.7	19.8	41.9	14.4	42.6	16.0	39.1	14.3	
借入残高	借入残高が年収の1/3を超える者	256	56.3	27.0	68.0	25.0	67.6	21.9	52.7	18.8	53.1	24.6	50.8	18.4
	借入残高が年収の1/3以下の者	1,089	57.0	26.4	70.9	26.4	67.0	27.0	52.5	20.7	54.2	23.1	50.5	20.8
	借入残高なし	1,378	37.4	10.4	52.9	14.7	53.6	14.2	32.4	9.0	32.4	9.3	28.8	8.7
	不明	77	27.3	9.1	39.0	13.0	40.3	10.4	26.0	6.5	26.0	7.8	22.1	7.8
3年以内借入経験者以外	1,953	18.9	2.0	38.8	5.4	39.7	5.1	20.2	2.5	16.9	2.8	11.8	1.8	
過去経験	3年以前に経験あり	266	29.3	2.6	53.0	9.8	54.9	11.3	30.5	5.6	27.8	4.9	19.9	4.1
	過去に経験なし	1,687	17.3	2.0	36.6	4.7	37.3	4.1	18.6	2.0	15.2	2.4	10.6	1.5

※「認知計」=「詳細な内容まで知っていた」+「聞いたことはあるが詳細な内容までは知らなかった」

※ピンク枠は各層で、「認知計」「詳細認知」が最も高い機関・相談窓口

財務局や地方自治体の相談窓口の認知経路

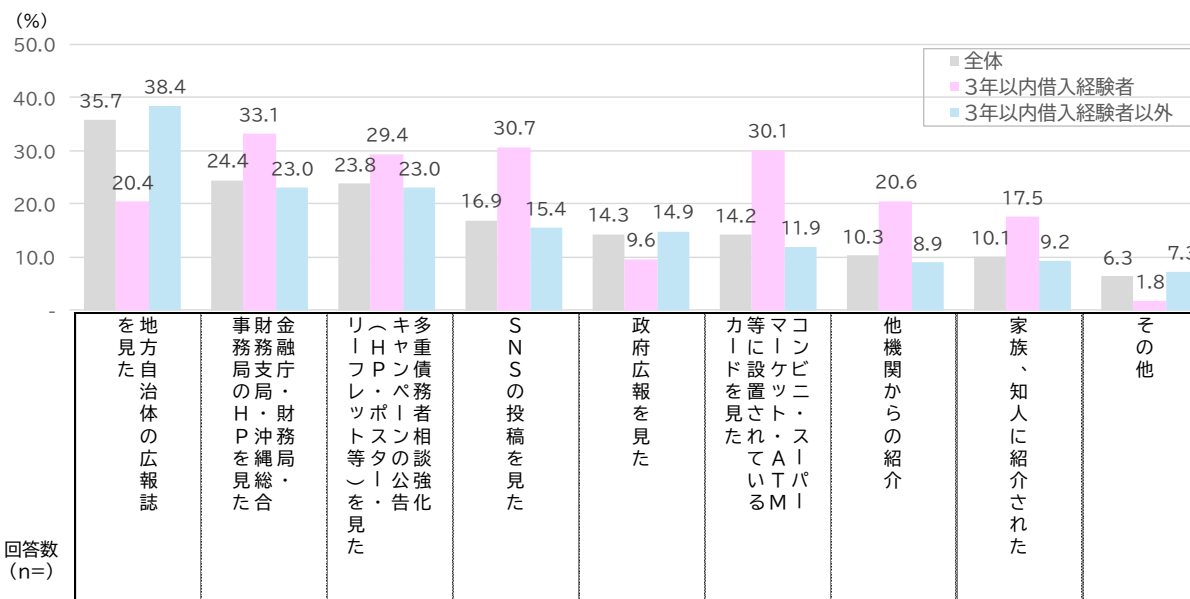
ベース：全員・相談窓口認知者

- 「財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口」の認知経路は、全体では「地方自治体の広報誌を見た」が35.7%で最も高い。
- 【3年以内借入経験者】では、全体に比べ「SNSの投稿を見た」、「コンビニ・スーパーマーケット・ATM等に設置されているカードを見た」、「他機関からの紹介」等が特に高い。

Q13. 財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口について「知っていた」、「聞いたことはある」とお答えいただいた方にお伺いします。相談窓口についてはどこで知りましたか。当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

※全体のみウエイトバックあり。
ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口の認知経路
(ベース：財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口の認知者)



回答数 (n=)	全体	3年以内借入経験者	3年以内借入経験者以外
全体	957	1,302	370
借入残高			
借入残高が年収の1/3を超える者	144	621	516
借入残高が年収の1/3以下の者	621	516	21
借入残高なし	516	21	78
不明	21	78	292
過去経験			
3年以内に経験あり	78	292	78
過去に経験なし	292	78	292

<全体との差>
■ +10pt以上高い
■ +5p以上高い
■ -10pt以上低い
■ -5p以上低い
■ サンプル30未満

相談の状況(相談先／相談しなかった理由)

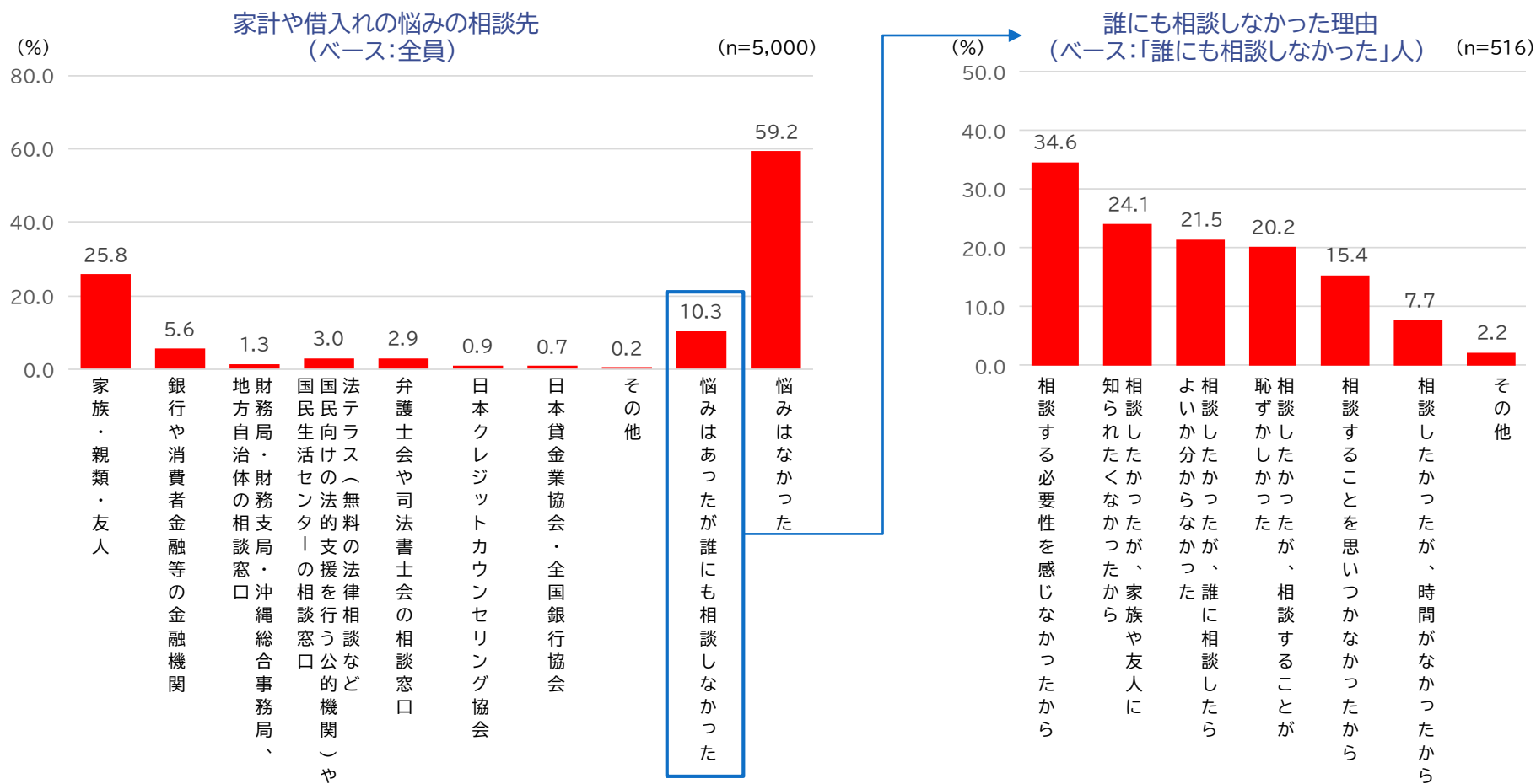
ベース：全員

- 家計や借入れの悩みの相談先は、「家族・親類・友人」が最も多く、全体で25.8%となっている。
- 「悩みはあったが誰にも相談しなかった」人は、全体で10.3%。その理由は「相談する必要性を感じなかったから」が34.6%で最も多い。

Q14. あなたは、家計や借入れに関して悩みがあった時、誰に相談しましたか。最大5つまでお答えください。(5つまで)

Q16. Q14で「悩みはあったが誰にも相談しなかった」と答えた方にお伺いします。あなたが相談しなかった理由として当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。



相談先の満足度

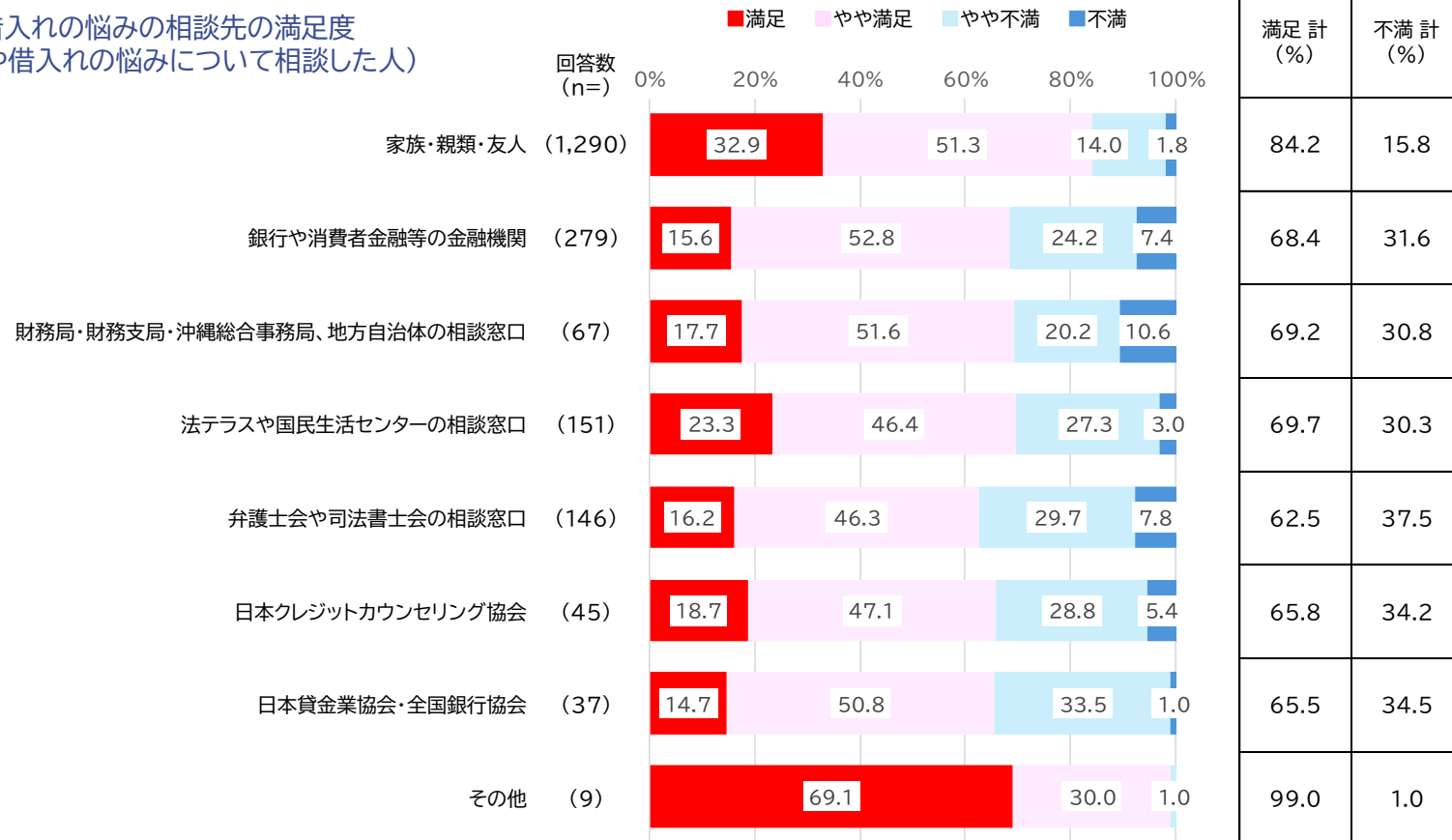
ベース：全員・悩みの相談をした人

- 家計や借入れの悩みの相談先の満足度について、「満足計」では「家族・親類・友人」が84.2%で最も高い。(回答数30以上)

Q15. あなたが「家計や借入れに関して悩みがあった時に相談した先」について、相談した際の満足度をそれぞれお答えください。(それぞれひとつずつ)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

家計や借入れの悩みの相談先の満足度
(ベース：家計や借入れの悩みについて相談した人)



Ⅲ. 多重債務者のまとめ

- 同時に複数の借入経験のある者の割合
- 同時に複数の借入れをした理由
- 債務の返済期間
- 返済の状況

本章では、過去に貸金業者からの借入経験のある者(借入れの時期にかかわらず)を対象にしている。
なお、貸金業とは「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「商工ローンからの借入れ(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「手形割引業者からの借入れ」を指す。

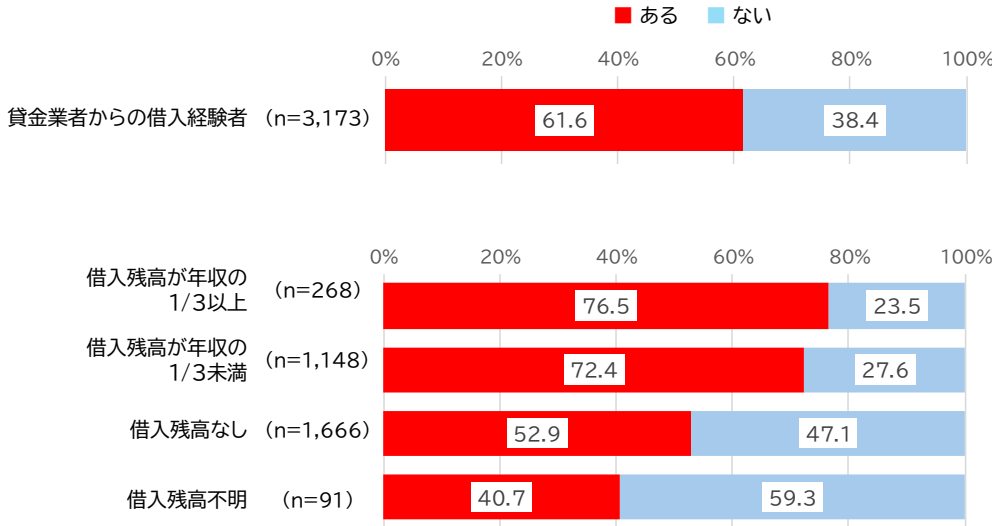
同時に複数の借入経験のある者の割合

ベース：貸金業者からの借入経験者
(借入時期不問)

- 借入経験者のうち、同時に複数の借入経験が「ある」人の回答割合は61.6%であった。
- 借入残高別では、借入残高がある者は残高の多寡にかかわらず「ある」との回答が7割を超える。
- 職業別に見ると、「会社員」、「経営者・役員」で、同時に複数の借入経験のある者の割合が高くなっている。(回答者30人以上)

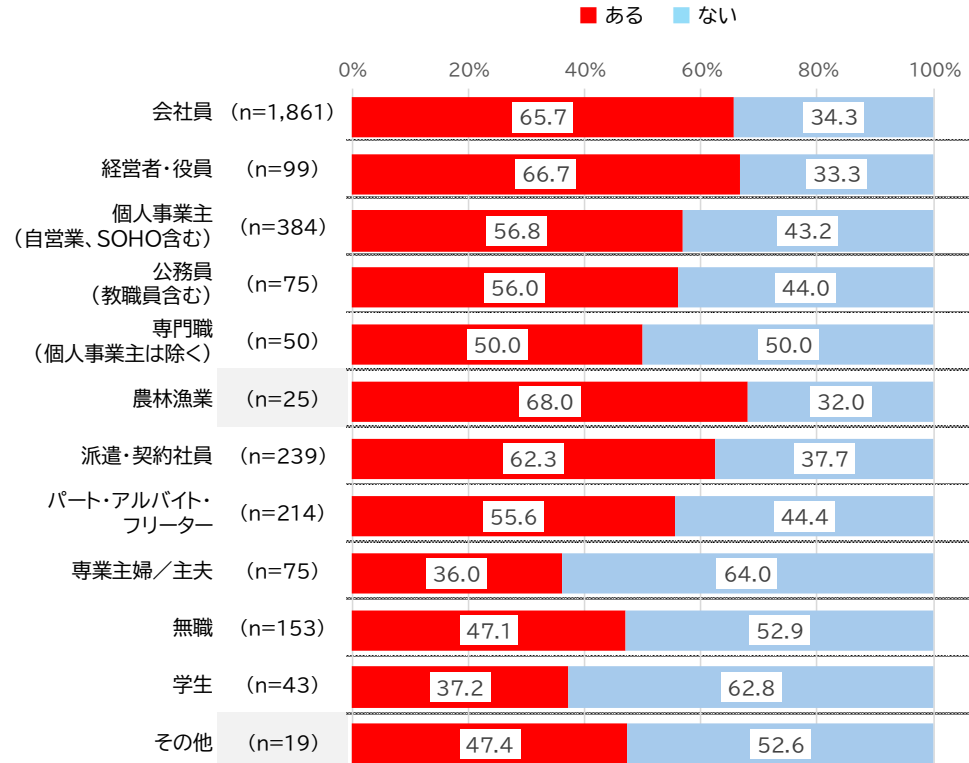
YQ7.あなたは、同時に複数の借入れをしたことはありますか。(ひとつだけ)

同時に複数の借入経験のある者の割合・借入残高別
(ベース：貸金業者からの借入経験者)



同時に複数の借入経験のある者の割合・職業別
(ベース：貸金業者からの借入経験者)

※補填サンプルを含む。



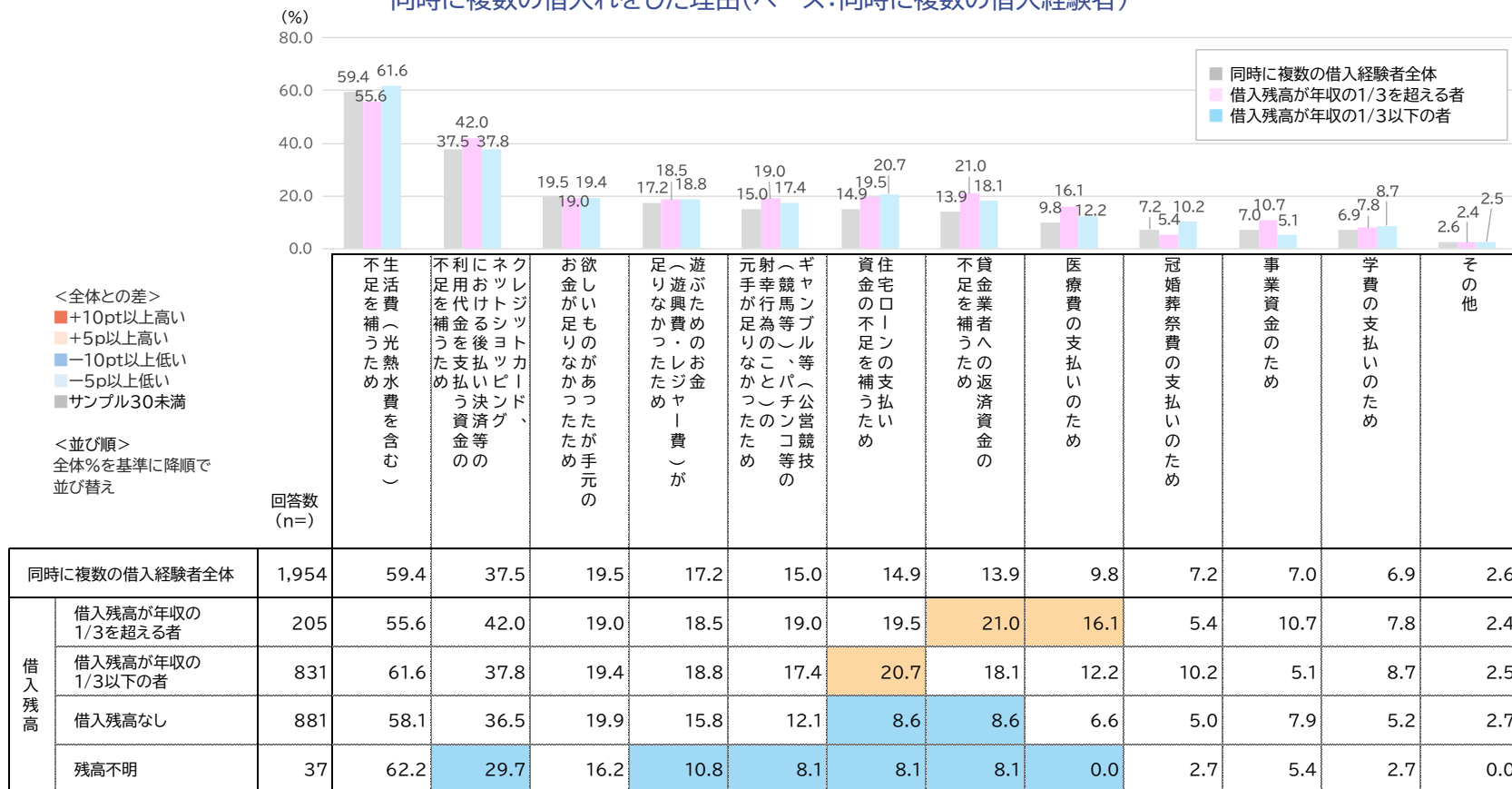
同時に複数の借入れをした理由

ベース：貸金業者からの借入経験者
うち、同時に複数の借入経験者

- 同時に複数の借入れをした理由は、全体では「生活費(水道光熱費を含む)不足を補うため」が59.4%で最も高い。
- 借入残高別に見ると、借入残高が年収の1/3を超える者では、「貸金業者への返済資金の不足を補うため」、「医療費の支払いの為」の回答割合が高い傾向がある。

Q6.先日のアンケートで、同時に複数の借入れ経験が「ある」と回答した方にお伺いします。あなたが、複数の借入れをした理由をお答えください。(いくつでも)

同時に複数の借入れをした理由(ベース:同時に複数の借入経験者)



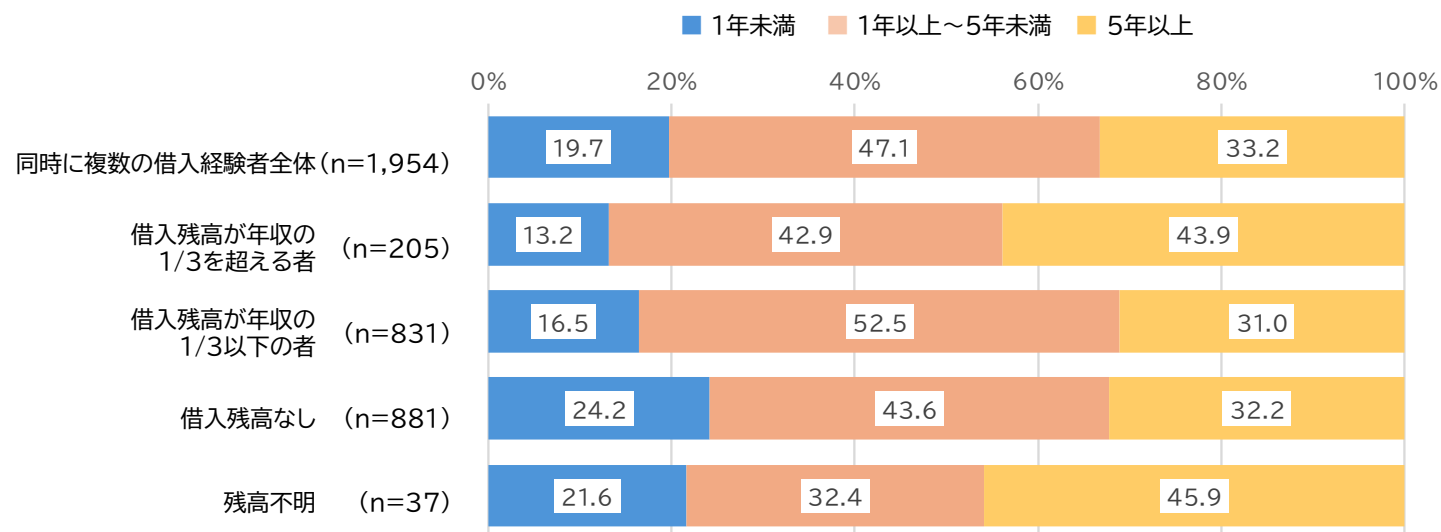
債務の返済期間

ベース：貸金業者からの借入経験者
うち、同時に複数の借入経験者

- 債務の返済期間は、同時に複数の借入経験のある者全体では、「1年以上～5年未満」が最も多く47.1%。
- 借入残高が年収の1/3を超える者については、「5年以上」が43.9%と、「1年以上～5年未満」が42.9%と同じ程度多い。

Q7.あなたの、債務の返済期間(見込み含む)はどのくらいですか。(ひとつだけ)

債務の返済期間・借入残高別
(ベース：同時に複数の借入経験者)



返済の状況

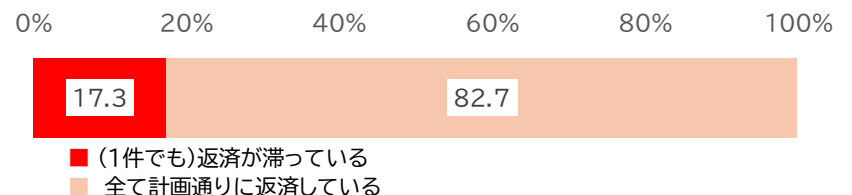
ベース：貸金業者からの借入経験者
うち、同時に複数の借入経験者

- 「(1件でも)返済が滞っている」の回答割合は、同時に複数の借入れのある者で17.3%、同時に複数の借入れのない者で10.4%となっている。
- 返済が滞っている者に対しその理由を質問したところ、同時に複数の借入れのある者・ない者いずれも、「借入後に想定していたよりも支出が増えてしまったから」が5割前後で1位に挙がる。
- 同時に複数の借入れのある者は、同時に複数の借入れのない者に比べ、「収入が借入れ時から減少したから」を理由として挙げる者の回答割合が2倍以上高いことが特徴的。

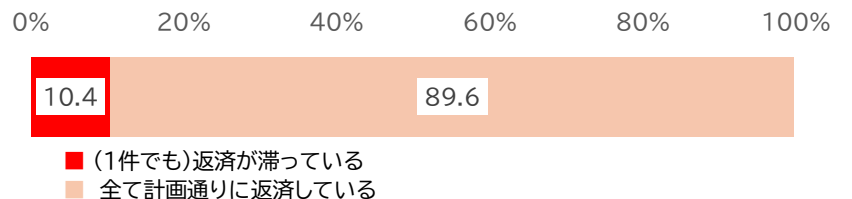
Q5. あなたの、現在の返済の状況をお答えください。(ひとつだけ)

Q8. Q5で、「(1件でも)返済が滞っている」と回答した方にお伺いします。あなたが、返済が困難となった理由をお答えください。(いくつでも)

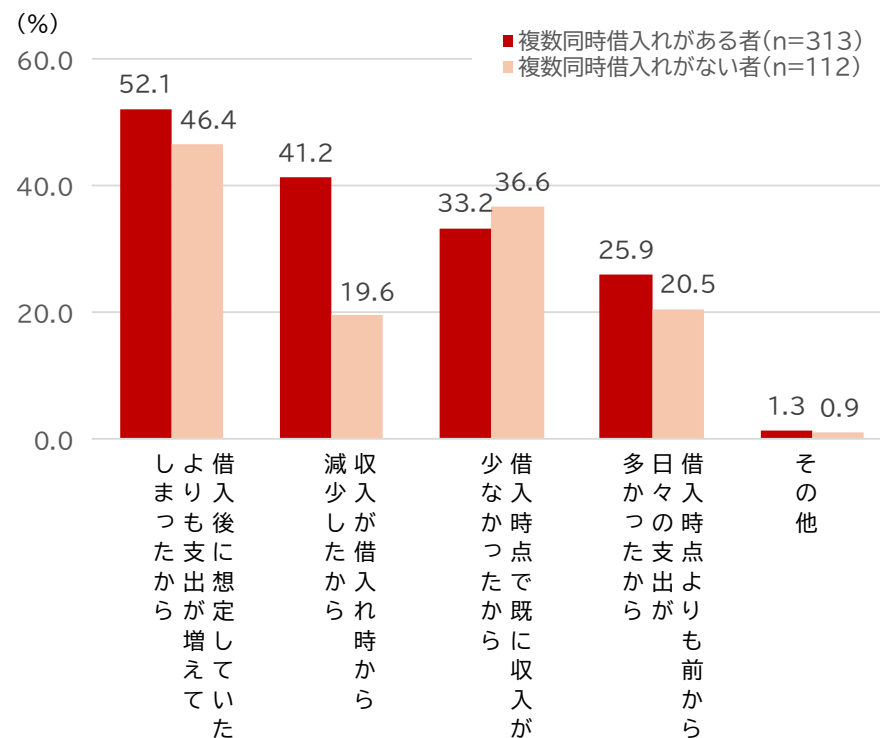
返済が滞っている者の割合
(ベース：同時に複数の借入れのある者)
(n=1,811)



返済が滞っている者の割合
(ベース：同時に複数の借入れのない者)
(n=1,076)



返済が困難となった理由
(ベース：返済が滞っている者)



※Q5の設問の回答条件は、3年以内借入経験者である。対して、前出のQ6及びQ7の設問の回答者条件は借入時期を不問(3年以上前も含む)としているため、本頁のn数と一致しない。

IV.無登録業者(ヤミ金融)の利用状況

- 利用経験
- 利用理由及び接触契機
- 借入元本・返済総額

※無登録業者(ヤミ金融)とは:

貸金業を営む場合、貸金業規制法に基づき、国(財務局)か都道府県の登録を受ける必要がある。それにもかかわらず無登録で貸金業を営む業者を指す。SNS等を利用した個人間融資、クレカ現金化、後払い現金化、先払い買取現金化、給与ファクタリング等、ファクタリングを装った貸付も含まれる。

利用経験※

※「無登録業者からの借入経験」について「ある」と回答した者の比率。

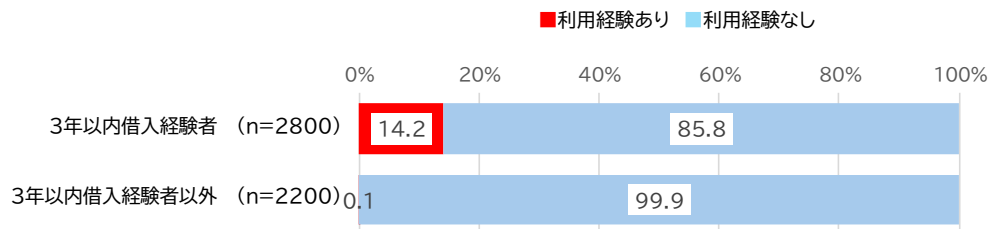
ベース：3年以内借入経験者

- 無登録業者(ヤミ金融)の利用経験は、3年以内借入経験者で14.2%、3年以内借入経験者以外では0.1%となっている。
- 借入残高別に見ると、借入残高が年収の1/3を超える者で35.2%、年収の1/3以下の者が26.4%となっている。
- 職業別に見ると、「会社員」、「経営者・役員」、「公務員」、「学生」での回答割合が高くなっている。(回答数30以上)

YQ6. [無登録業者]あなたは、以下の借入れ・資金調達等のサービスについて、借入れを行なった(利用した)経験がありますか。(それぞれひとつずつ)

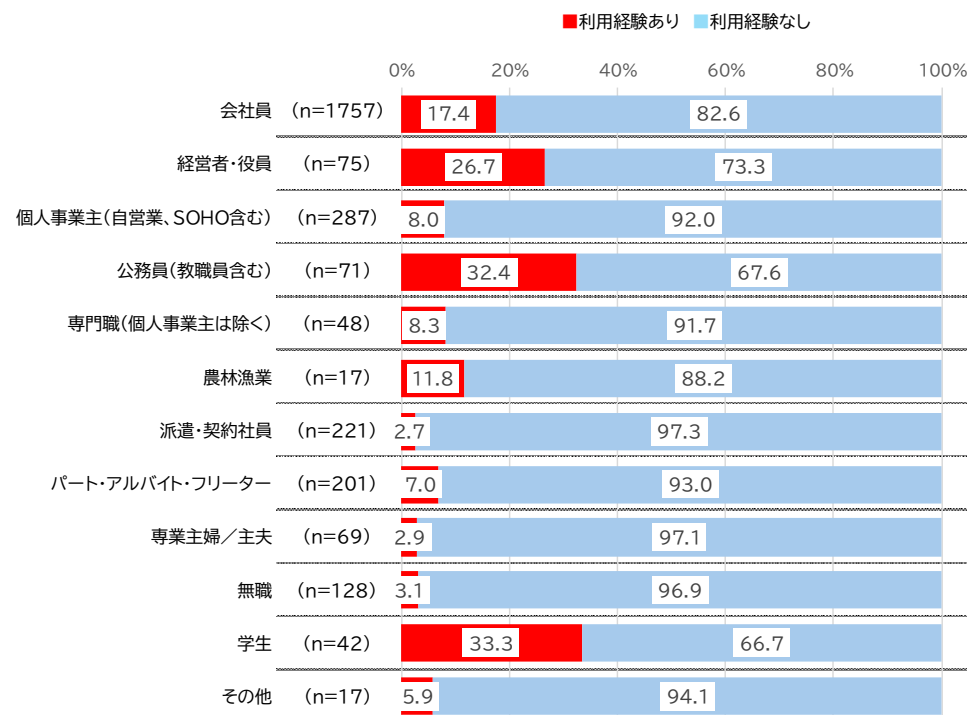
※無登録業者(ヤミ金融)の利用経験の範囲は本来は【3年以内利用経験者以外】も含むが、同グループ内では無登録業者(ヤミ金融)の利用経験者が2名に留まるため、年収、職業別ではウェイトバックは行わず、ベースは【3年以内借入経験者】に絞っている。

無登録業者(ヤミ金融)の利用経験・借入経験別
(ベース:全員)

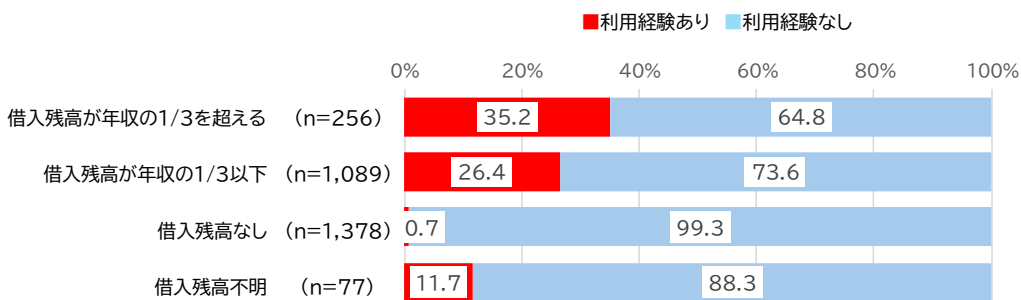


無登録業者(ヤミ金融)の利用経験・職業別
(ベース:3年以内借入利用経験者)

※補填サンプルを含む。



無登録業者(ヤミ金融)の利用経験・借入残高別
(ベース:3年以内借入経験者)

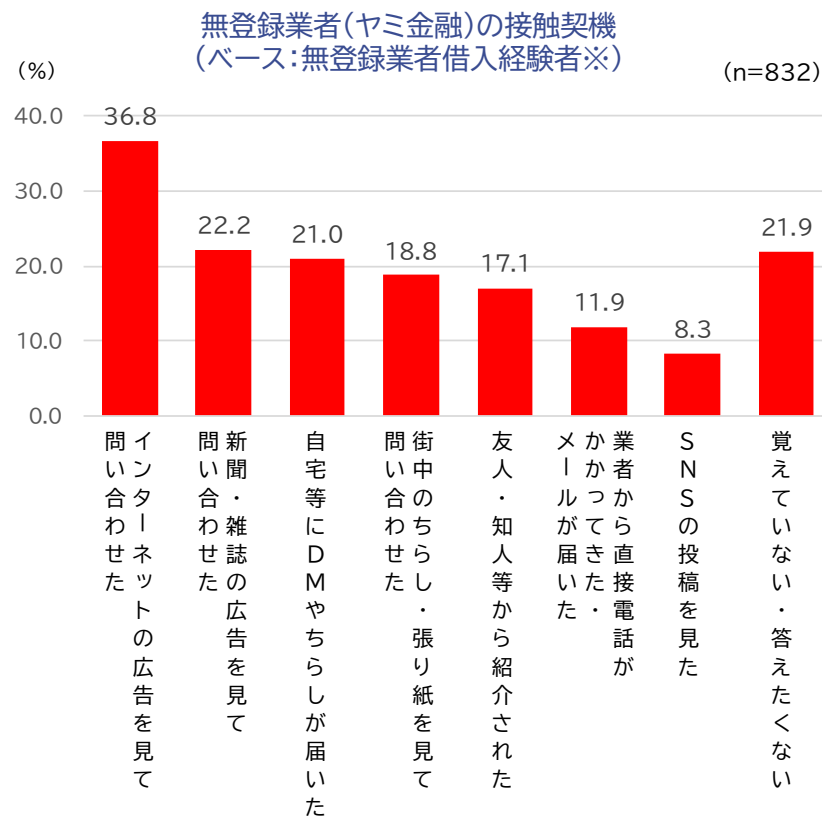
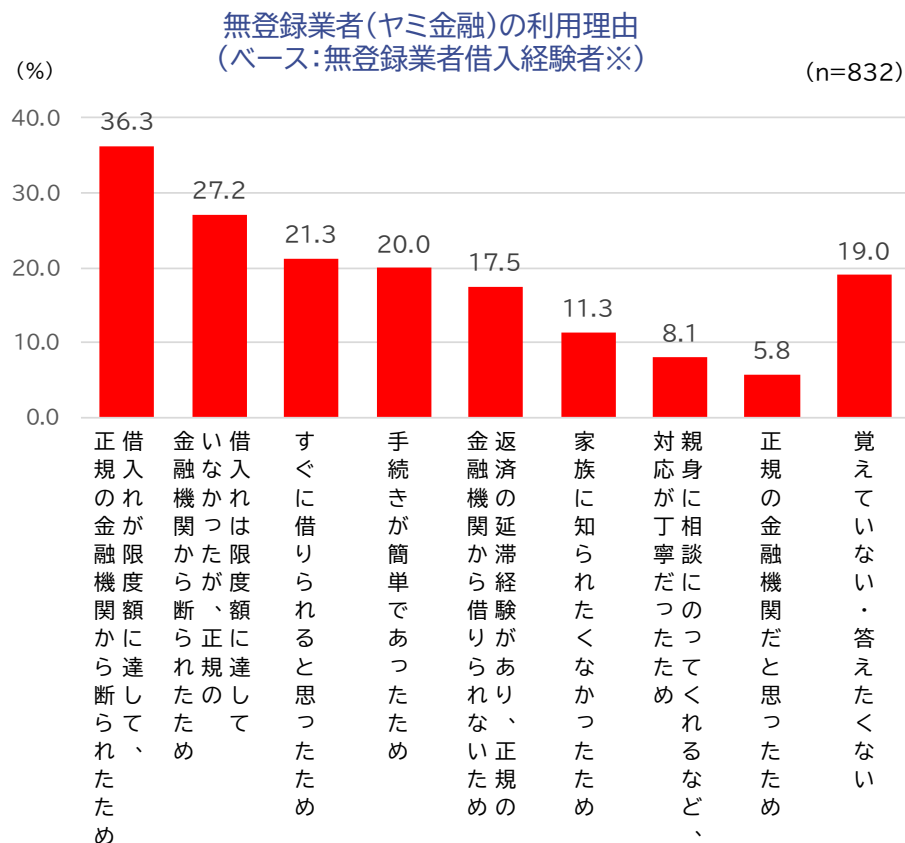


利用理由及び接触契機

ベース：無登録業者借入経験者

- 無登録業者(ヤミ金融)の利用理由は、「借入れが限度額に達して、正規の金融機関から断られたため」が36.3%、「借入れは限度額に達していなかったが、正規の金融機関から断られたため」が27.2%と、上位に挙がる。
- 無登録業者(ヤミ金融)との接触のきっかけは、「インターネットの広告を見て問い合わせた」が36.8%で最も高い。

Q26.あなたが、正規の金融機関(銀行、貸金業者(クレジットカード会社、消費者金融、商工ローン)等)ではなく、無登録業者(ヤミ金融※)から借入れを行った理由として、当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)
 Q27.あなたが最初に無登録業者(ヤミ金融※)から借入れを行った際に、その業者と接触したきっかけをお答えください。(いくつでも)



※SNS等を利用した個人間融資、クレカ現金化、後払い現金化、先払い買取現金化、給与ファクタリング等の利用経験者も含む。

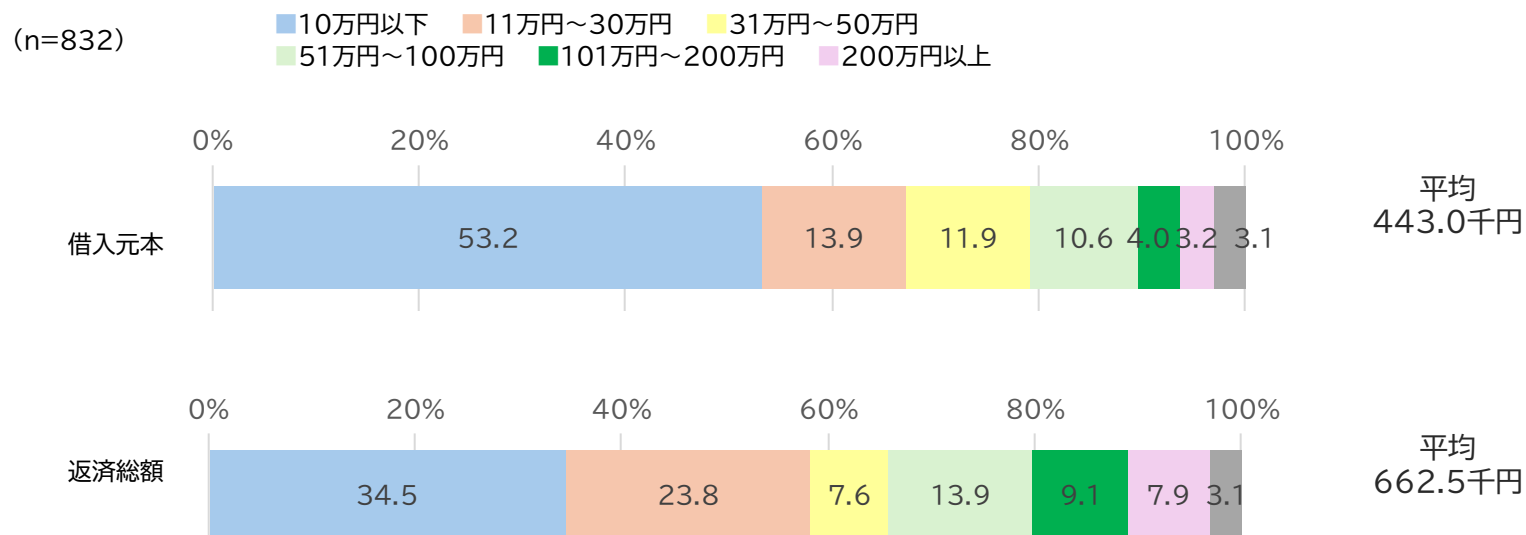
借入元本・返済総額

ベース：無登録業者借入経験者

- 無登録業者(ヤミ金融)利用経験者の借入元本は、「10万円以下」が53.2%となっている。
- 無登録業者(ヤミ金融)利用経験者の返済総額は、「10万円以下」が34.5%、「11万円～30万円」が23.8%となっている。

Q28.あなたが一番最近、無登録業者(ヤミ金融※)から借入れを行った際の借入元本、借入期間、借入金利、返済総額をお答えください。

無登録業者(ヤミ金融)からの借入れ時の借入元本および返済総額(元本+利息)
(ベース：無登録業者からの借入経験者※)



※SNS等を利用した個人間融資、クレカ現金化、後払い現金化、先払い買取現金化、給与ファクタリング等の利用経験者も含む。

V. 事業者における借入れ状況まとめ

事業者：経営者・個人事業主(自営業、SOHO含む)、農林漁業の方

- 事業資金の借入経験・利用サービス別
- 事業資金の借入目的／利用金融機関別
- 事業資金借入検討時の優先事項

事業資金の借入経験・利用サービス別

事業者：経営者・個人事業主(自営業、SOHO含む)、農林漁業の方

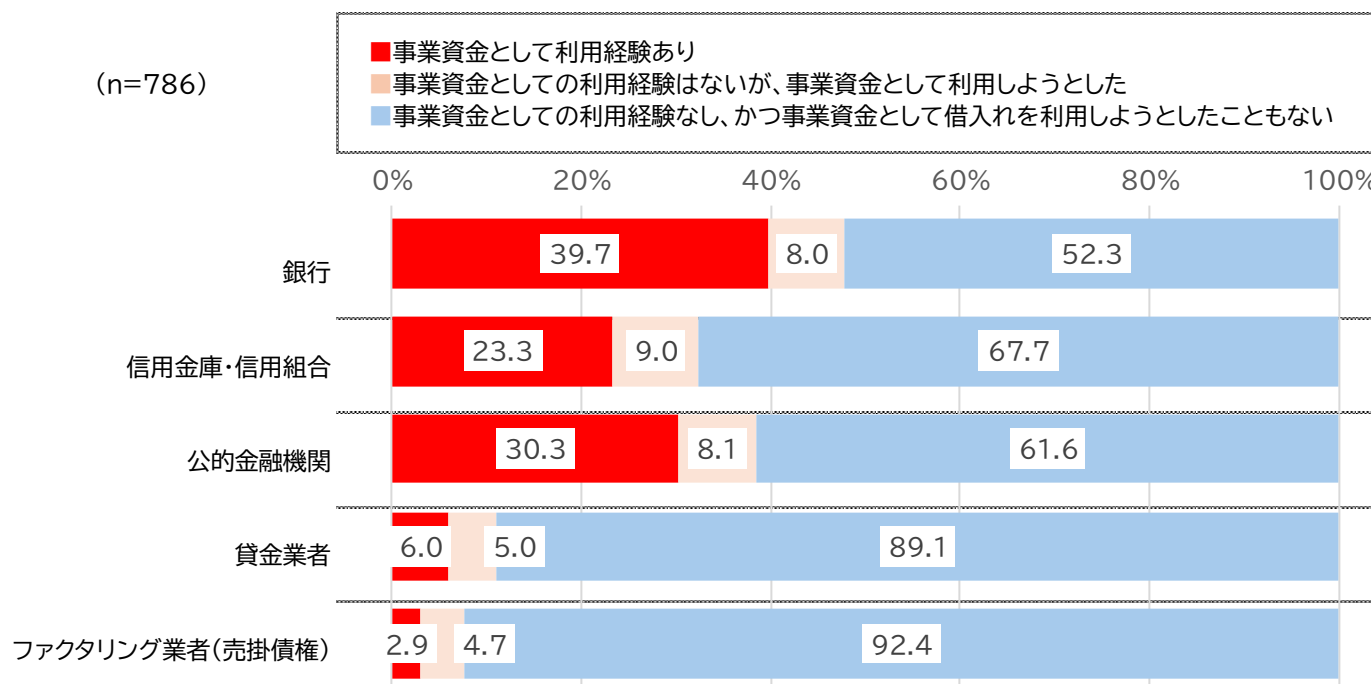
ベース：事業者（補填サンプル含む）

- 事業者における事業資金の借入れ先の上位3位は、「銀行」が39.7%、「公的金融機関」が30.3%、「信用金庫・信用組合」が23.3%の順。
- 「貸金業者」を事業資金として利用経験のある事業者は6.0%、借入れ意向者は5.0%となっている。

YQ8.[経営者・個人事業主(自営業、SOHO含む)、農林漁業の方のみ]あなたは、以下の手段にて事業資金の借入れを行った(利用した)経験がありますか。最もあてはまるものを選んでください。(それぞれひとつずつ)

事業資金の借入経験・利用サービス別
(ベース:事業者)

※補填サンプルを含む。



事業資金の借入れ目的／利用金融機関別

事業者：経営者・個人事業主(自営業、SOHO含む)、農林漁業の方

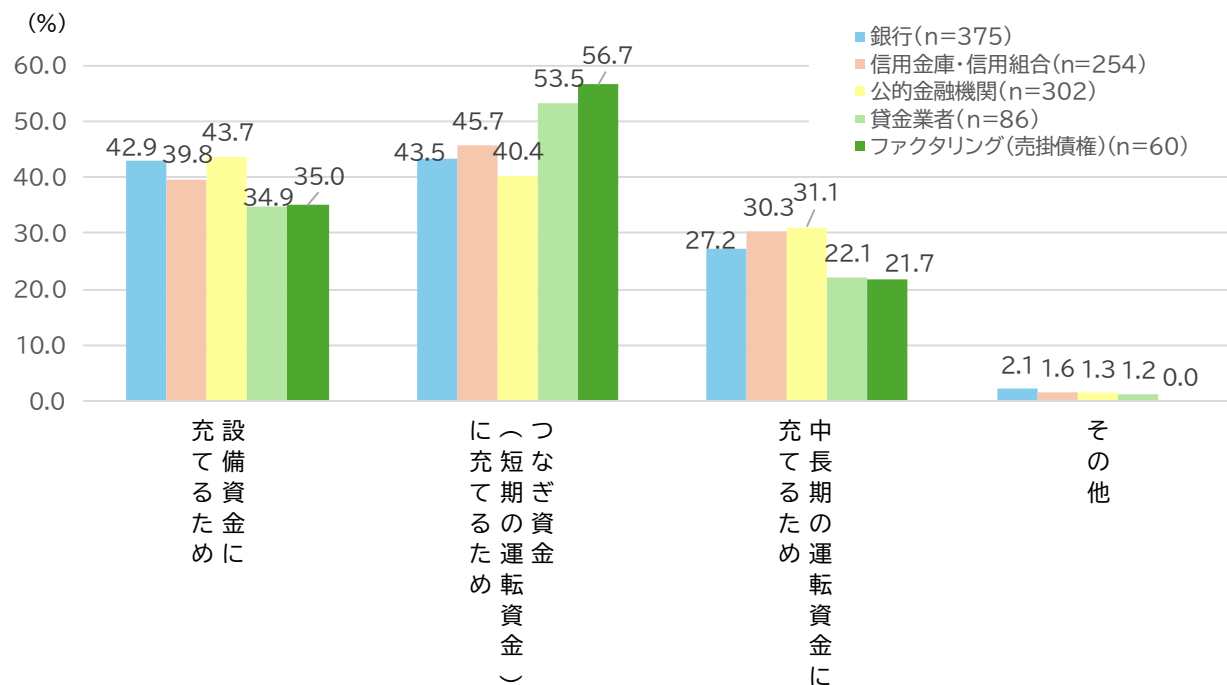
ベース：事業資金の借入経験・意向のある事業者（補填サンプル含む）

- 事業資金の借入れ目的について、借入れ先別に見ると、「銀行」、「信用金庫・信用組合」は、いずれも「設備資金に充てるため」が4割、「つなぎ資金(短期の運転資金)に充てるため」が4割強、「中長期の運転資金に充てるため」が3割という構成になっている。
- 「貸金業者」、「ファクタリング(売掛債権)」は、「つなぎ資金(短期の運転資金)に充てるため」の回答割合が高いことが特徴的。

Q19.金融機関より事業資金を借入れた(利用しようとした)際の借入れ目的をお答えください。(それぞれいくつでも)

事業資金としての金融機関等利用目的・利用サービス別
(ベース：事業資金の借入経験・意向のある事業者)

※補填サンプルを含む。



事業資金借入れ検討時の優先事項

事業者：経営者・個人事業主(自営業、SOHO含む)、農林漁業の方

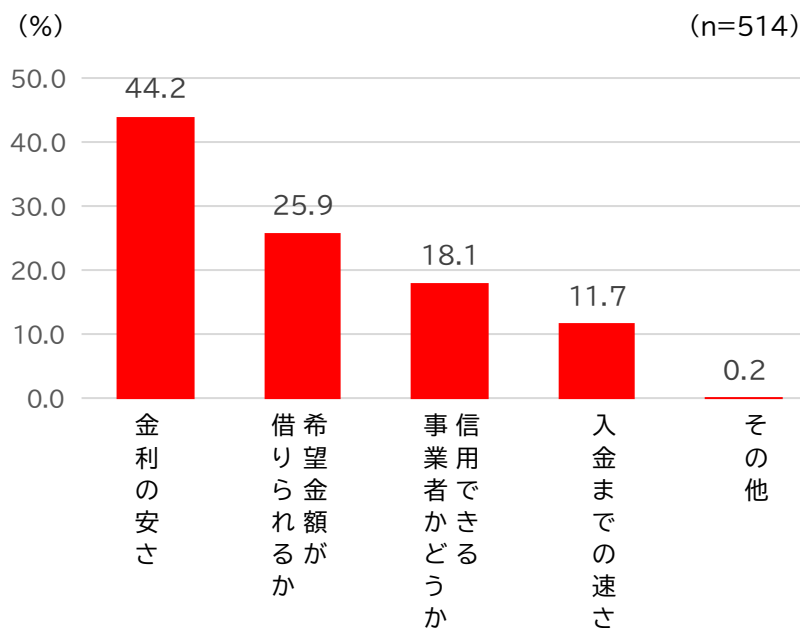
ベース：事業資金の借入経験・意向のある事業者（補填サンプル含む）

- 事業資金として金融機関等を利用したことのある／利用意向がある事業主は、事業資金借入れ検討時の優先事項では、「金利の安さ」が44.2%で回答割合が最多となっている。次いで、「希望金額が借りられるか」が25.9%、「信用できる事業者かどうか」が18.1%、「入金までの速さ」が11.7%と続く。

Q20.あなたが借入れを検討する際に、最も優先する事項は何ですか。(ひとつだけ)

事業資金借入れ検討時の優先事項
(ベース：事業資金の借入経験・意向のある事業者)

※補填サンプルを含む。



VI. キャッシュレス決済のための貸金利用状況まとめ

- 貸金サービス利用状況
- 借入金額と借入残高

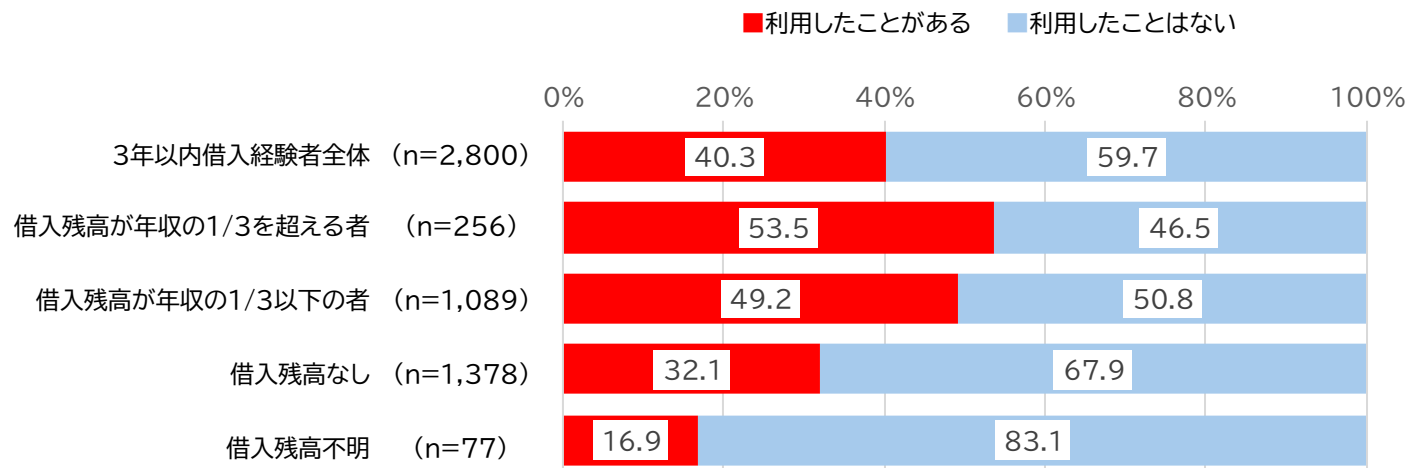
貸金サービス利用状況

ベース：3年以内借入経験者

- キャッシュレス決済の支払いのために、借入れ・資金調達等のサービスを利用したことがある人は、3年以内借入経験者全体で40.3%。
- 借入残高別では、借入残高が年収の1/3を超える者では53.5%と半数以上が「利用したことがある」と回答している。

Q21. あなたは、最近3年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用したことがありますか。(ひとつだけ)

キャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用したことの有無・借入残高別
(ベース：3年以内借入経験者)



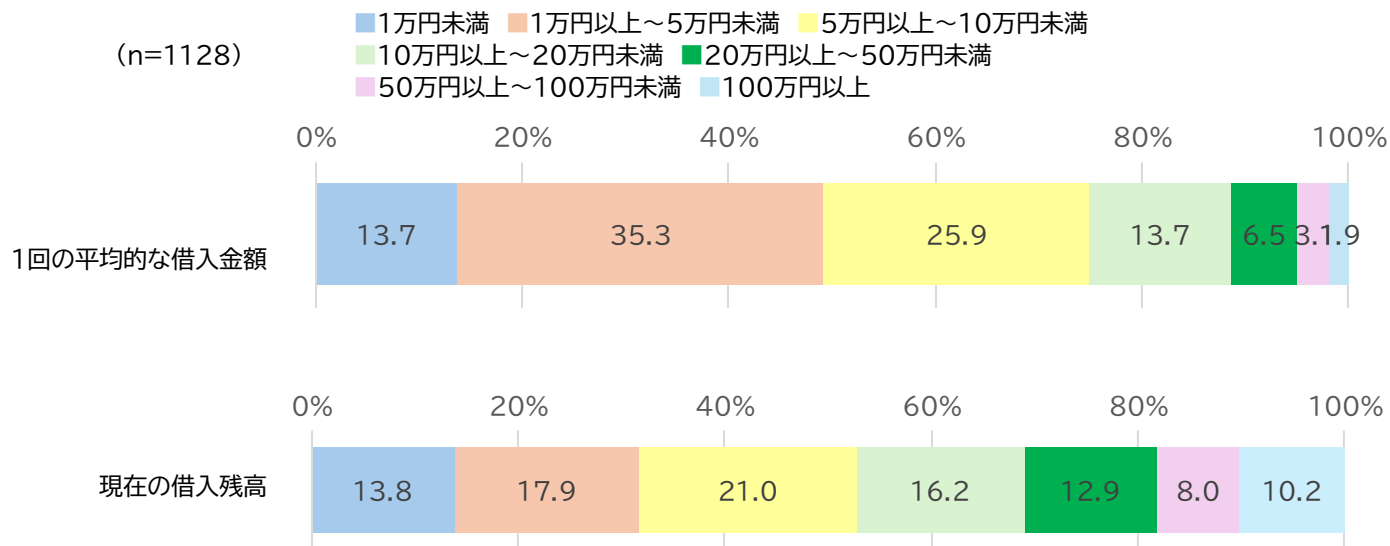
借入金額と借入残高

ベース：
キャッシュレス決済のための借入経験者

- キャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した人に対し、1回の平均的な借入金額を質問したところ「1万円以上5万円未満」と回答した者の割合が35.3%で最も多い。
- 現在の借入残高は、「1万円以上～5万円未満」、「5万円以上10万円未満」、「10万円以上～20万円未満」が約2割で並ぶ。残高は10万円以上の回答者合計が47.3%と半数に迫る。

Q22.あなたが最近3年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した際の、1回の平均的な借入金額(利用金額)と現在の借入残高をお答えください。(それぞれひとつずつ)

1回の平均的な借入金額 および現在の借入残高
(ベース:キャッシュレス決済のための借入経験者)



VII. 貸付自粛制度の認知・利用状況のまとめ

- 認知度と認知経路
- 利用経験と、撤回経験
- 制度の利用／非利用理由

認知度と認知経路

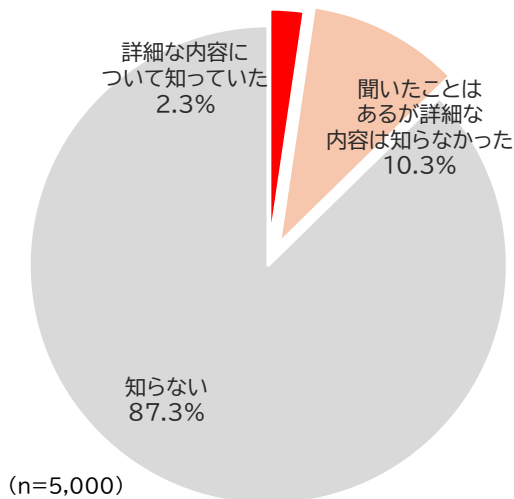
ベース：全員

- 貸付自粛制度の認知率(「詳細な内容について知っていた」+「聞いたことはあるが詳細な内容は知らなかった」計)は全体で12.6%。
- 本制度の認知経路は<人・公的機関からの紹介>では「家族・親類・友人」が27.6%で最も多く、次いで「銀行や消費者金融等の金融機関」が24.5%で続く。<自分で調べた・掲示物を見た>では、「市区町村」を通じての認知が18.8%で最も高い。

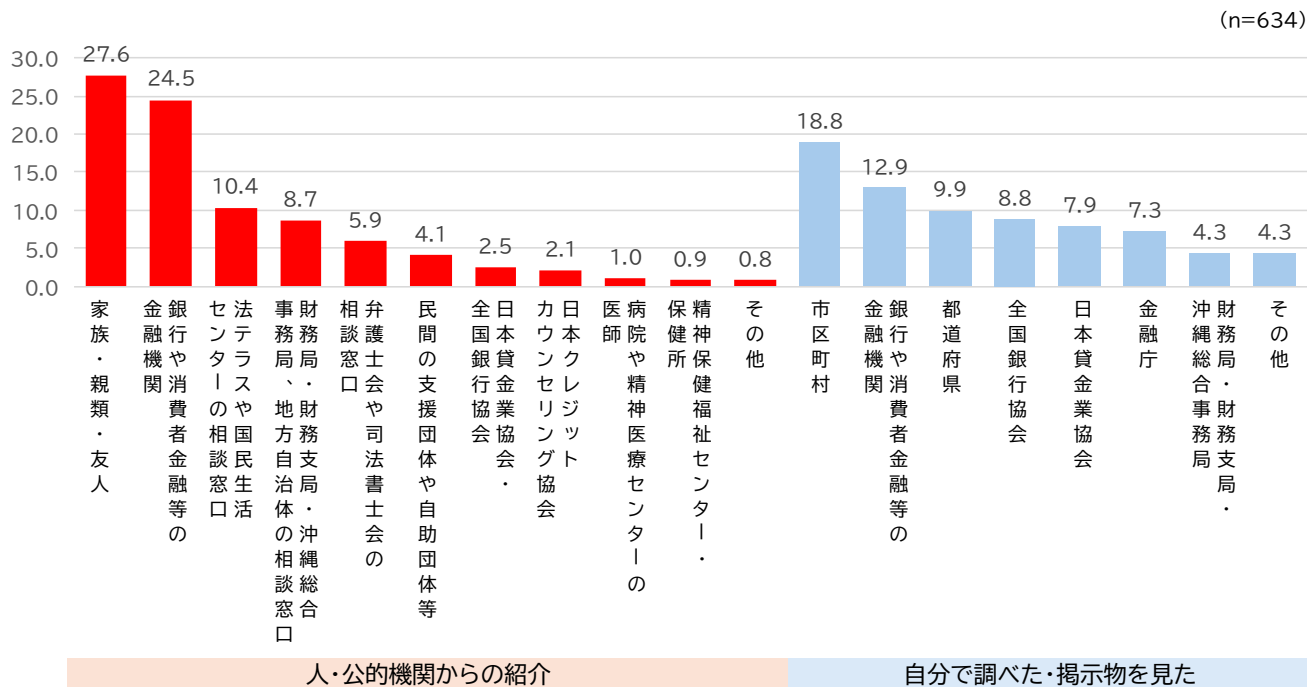
Q12.以下の機関や相談窓口が、セーフティネットとして、多重債務に関する相談や、生活に困った人に対する貸付け等を行っていることをご存知ですか。それぞれについて、お答えください。／貸付自粛制度(それぞれひとつずつ)
 Q32.貸付自粛制度を知っている方にお伺いします。あなたは、貸付自粛制度をどこで知りましたか。当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

貸付自粛制度の認知(一部再掲)
(ベース：全員)



貸付自粛制度の認知経路 (ベース：貸付自粛制度の認知者)



利用経験と撤回経験

ベース：貸付自粛制度認知者

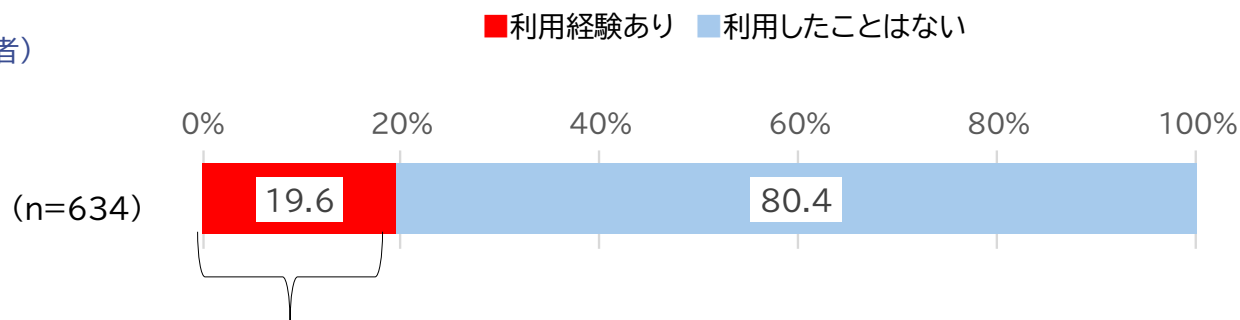
- 貸付自粛制度の認知者中で、同制度の利用経験者は19.6%となっている。
- 同制度の利用者において、撤回経験については、多い順に「撤回したことはあるが、撤回後に借入れは行っていない」が40.2%、「撤回したことはない」が37.1%となっている。

Q33. あなたは貸付自粛制度を利用したことはありますか。ある場合はあなたが貸付自粛制度を利用した理由は何ですか。当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

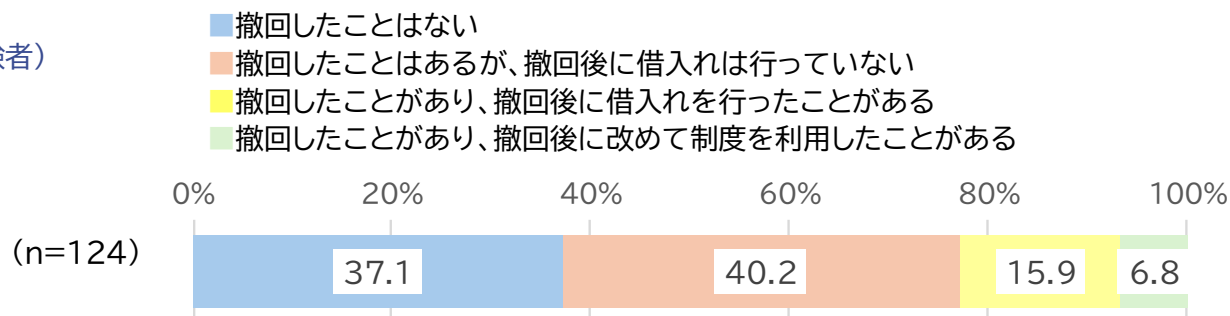
Q34. 貸付自粛制度を利用したことがある方にお伺いします。あなたは、貸付自粛制度を撤回したことはありますか。(ひとつだけ)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

貸付自粛制度の利用経験
(ベース：貸付自粛制度の認知者)



撤回の経験
(ベース：貸付自粛制度利用経験者)



制度の利用／非利用理由

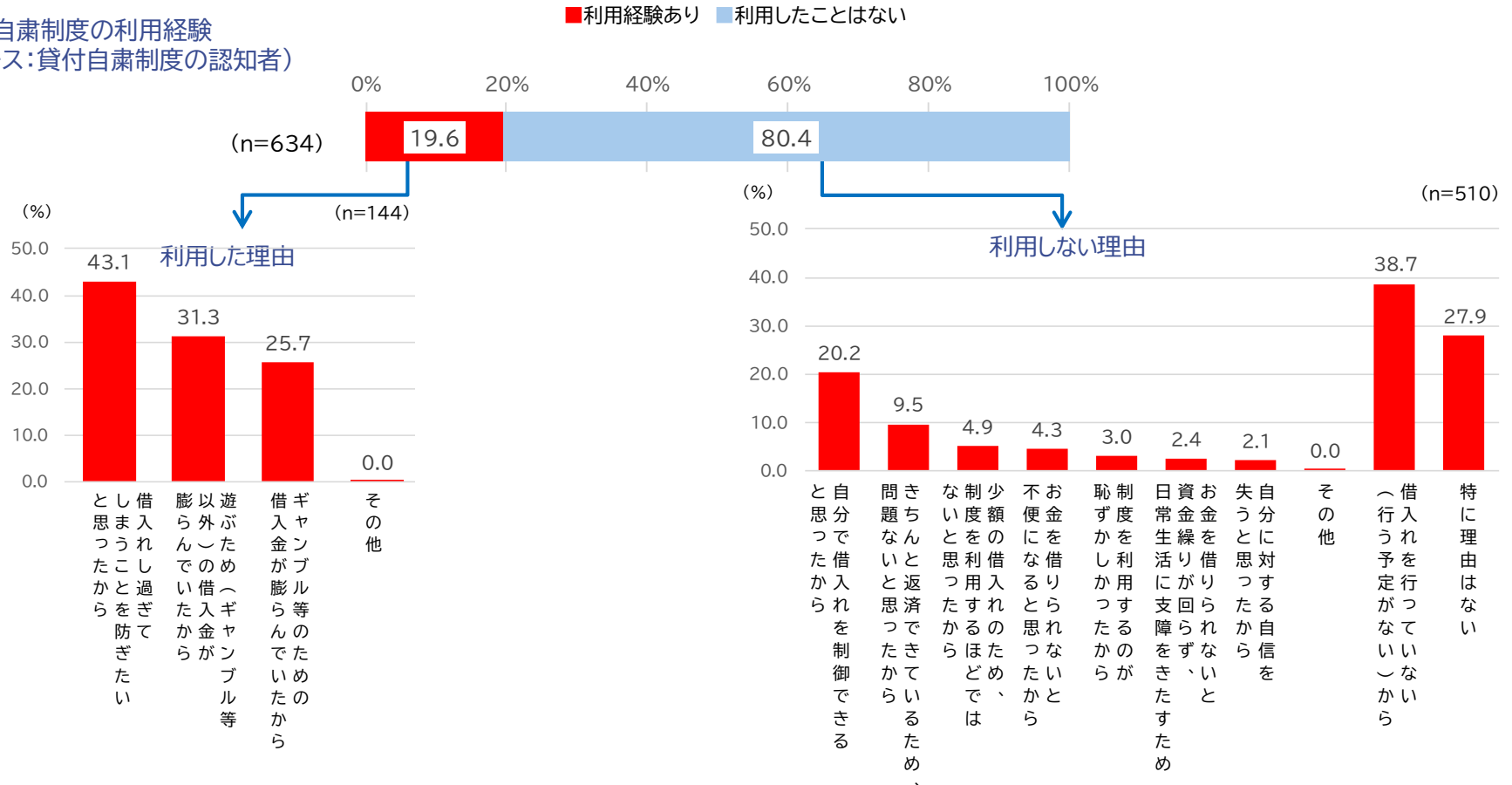
ベース：貸付自粛制度認知者

- 貸付自粛制度の利用理由は「借入れし過ぎてしまうことを防ぎたいと思ったから」が最も多く、43.1%と約半数を占める。次いで、「遊ぶため（ギャンブル等以外）の借入金が膨らんでいたから」が31.3%、「ギャンブル等のための借入金が膨らんでいたから」が25.7%で続く。
- 対して、同制度の非利用者において、利用しない理由は「自分で借入れを制御できると思ったから」が20.2%で最も高い。

Q33. あなたは貸付自粛制度を利用したことはありますか。ある場合はあなたが貸付自粛制度を利用した理由は何ですか。当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)
 Q35. 貸付自粛制度を利用したことがない方にお伺いします。あなたが貸付自粛制度(*)を利用しない理由をお答えください。(いくつでも)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

貸付自粛制度の利用経験
(ベース：貸付自粛制度の認知者)



Ⅷ.ギャンブル等を目的とした借入経験者のまとめ

- 借入経験者の割合と借入金額・残高
- 借入経験者の相談状況

『ギャンブル等を目的とした借入経験者』

最近3年以内に、「銀行のカードローン」「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」「商工ローン(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」「各都道府県の社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付制度」「手形割引業者」「SNS等を利用した個人間融資」「クレジットカードのショッピング枠の現金化」「後払い(ツケ払い)現金化」「先払い買取現金化」「ファクタリング(給料債権)」「無登録業者(ヤミ金融)からの借入れ」「ファクタリング(売掛債権)」のいずれかで「ギャンブル等の元手が足りなかったため」を目的とした借入経験がある方。

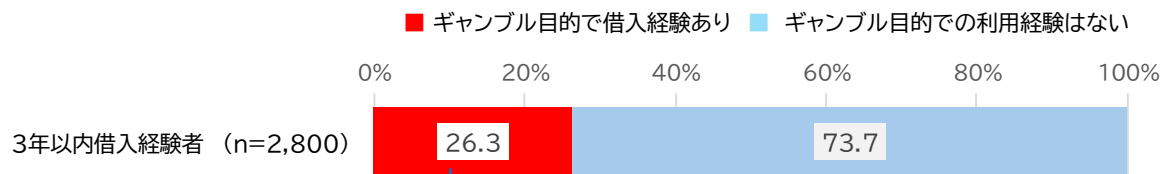
借入経験者の割合と借入金額・残高

ベース：3年以内借入経験者

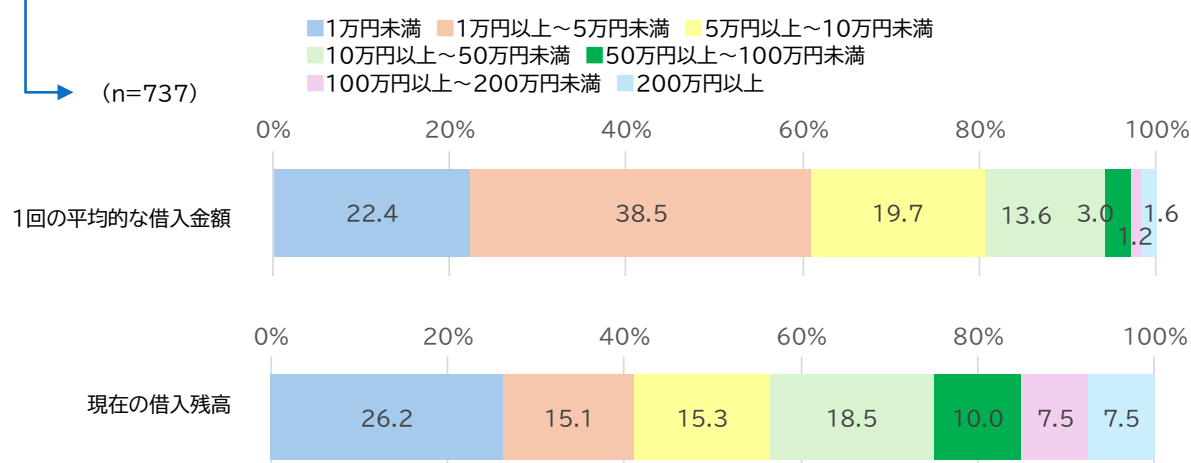
- 3年以内借入経験者のうち、ギャンブルを目的とした借入経験者全体に占める割合は26.3%。
- ギャンブル等を目的とした借入れについて、1回の平均的な借入金額は「1万円以上～5万円未満」が38.5%と最も高い。次いで、「1万円未満」が22.4%で続く。5万円未満との回答者は合計で、約6割見られた。
- 同借入れにおける、現在の借入残高は「1万円未満」が26.2%で最も多く、次いで「10万円以上～50万円未満」が18.5%となっている。

Q1.あなたが最近3年以内に借入れ・資金調達等を行った以下のサービスについて、それぞれの契約目的として、当てはまるものを全てお答えください。／ギャンブル等の元手が足りなかったため(それぞれいくつでも)
 Q29.あなたが最近3年以内にギャンブル等※や遊びのために借入れした際の、1回の平均的な借入金額(利用金額)と現在の借入残高をお答えください。(それぞれひとつずつ)

ギャンブル等を目的とした借入経験者の割合
(ベース:3年以内借入経験者)



1回の平均的な借入金額および現在の借入残高
(ベース:ギャンブル等を目的とした借入経験者)



借入経験者の相談状況

ベース：
ギャンブル等を目的とした借入経験者

- ギャンブル等や遊びのための借入れや、ギャンブル等にのめりこんでしまうことについての相談経験者は、ギャンブル等を目的とした借入経験者の46.4%。
- 相談した先としては「家族・親類・友人」が最も多く、50.9%と半数を占める。
- 相談しない理由としては「相談する必要性を感じなかったから」が最も多く、47.1%となっている。

Q30. あなたは、ギャンブル等や遊びのための借入れや、ギャンブル等にのめりこんでしまうことについて、誰かに相談したことはありますか。当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)
Q31. 前問で「相談したことはない」答えた方にお伺いします。あなたが相談しなかった理由として当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)

相談経験の有無(ベース:ギャンブル等を目的とした借入経験者)

■ 相談したことがある ■ 相談したことはない

